# 畧譜 十二

今大路 生駒 石丸
池谷 猪狩 石橋
飯河 石津
岩本 岩佐

内閣文庫
和書 類
三八〇八 號
二一一 冊
一五六 函
九 架

内閣文庫
番號 和 36088
冊數 211( 12)
函號 156 17

橘姓

今大路 曲直瀬

本氏 源姓 佐々木 嫡孫

従曦盛院より橘姓今大路氏を称

菊桐之紋免許

宇多天皇之九代後胤佐々木太郎定

綱隠岐盛頼より当嫡孫花門親[illegible]

嫡子

翠竹院道三法印 致仕 亨徳院

正盛

[illegible] 叙二位 等皓 一渓 道三 雖知苦斎 啓迪庵

永正四年九月十八日山城国[illegible]生

記録御用所本

父親ハ死しまゝ母ハ日を過さず母も死しけれバ
伯母婦の許に養はれて成長し氏を曲直
瀬と改め足利学校に行て群書を
窮め自ら医道に志ありしより支山人導道
大明より帰朝せしに是を師として
医道の奥秘を学ひ将軍義輝公
の病を治し蜀[illegible]有子筆入[illegible]
以天目引[illegible]の盆を[illegible]天文十四年
門弟子の為に全九集七巻を著述する
同十八年将軍義輝公の江州
陣に来りて義輝実子に[illegible]脈の法を伝ふ是を
家の奥秘の事に[illegible]
九年毛利元就を治療し[illegible]
自ら方を著し此時雲陣[illegible]
書物を著しつゝ元亀二年啓迪集
八巻編集○天正二年十一月十七日
禁裏に召され天顔を拝し御脈を診
啓迪集を献じ[illegible]の[illegible]天龍寺の
策彦和尚に序文を命ぜらるゝ文格の

尾藤ハ弘仁元年より延喜年中に
法式清かるゝよし治乱なかりしを恵仁の
代より二千年に及べる
西三條殿より二品盛へ尾藤の法式 勅
に世家となる毎年尾藤相数をも献る
○二条殿　年月不知
後柏原院宸翰の古今集を御伝太正
三年十月十四日御伝授二品盛より
宅に入玉ひし時素安侍に授しまゝ文
秀吉公入京の時の素安侍を続

致仕せしの後身を修養して暮し
生涯論語を書写する人
形而人の事をも求めず福聡と
法をもの道を人のさしまさ
只今書付開より再書を授ける

東照宮より度々春日光を家
の月十二年十二月朔日の名代御書
を附属すよの　勅書を給
名字学察聡通院の号を門人
且秦京治よりる曲直瀬の氏を門
人長安院正琳より文禄四年
正月四日死す八十九歳正月十二日

慶長十五年四月
後陽成院より綸旨二位法印の口宣

頂藏を称ス

成紹 号伯 畢竹院
女子 正盛ノ五女
女子 道伯ノ妻
盛孝 正純 号一得院

親真 早世

女子 正紹妻 宇喜多直家ノ女
初め若狭ニて父母よくうまき 幽縁ありて養女となり 正紹と妻となれ

正紹

曲直瀬延寿院法印 四 又真瀬氏とも書

五 延命院玄朔 三

二 大刀之助 東井 法眼

実ハ河崎宗之丞ノ男 母ハ高部氏ノ親真ノ女

正盛老後嫡子守真早世ニ付 孫女ノ婿
とて養子トシ 正紹と称す 実ハ

○寛文三年 二宮ニ而 録の時四十余歳と称す
四年家督相続

又二アリ
玄佐法眼の養嗣と成 相続之 寛永九
年親玄朔と共ニ 同十年
年十二月十六日中山右中将 親に従
事 父正盛ニ 勅定ニ而道三乃
名を二世として二度 法印ニ叙 同十
年法眼ニ叙 同十七年
ニ叙 同十七年四月二宮式部
親王御録の時四十余と称す 年
の将秀忠公 正盛の館ニ家の也
と称 二文禄元年 秀吉公動鮮

日本親町院より年の時御薬調進して 法印と成

日本二年 慶長ニ而 法眼
法眼四十余歳 正月

の後に傳はりしを其の王朝鮮の文庫
に蔵書籍数多持来りける中に此の朗詠
集の證通集并に掛唐と同じ
石本一つより朗詠通集は二十巻にて
數通人に備へり此の物語支の外にも
秀吉公朝鮮を征し給ひ石本は
財宝すへてとも同しく納め給ひ
秀次公に賜ひ其の時佐竹義宣
にも賜ひ常陸国の民常に山万とも
書物十二巻なとも慶長二年九月

○伯膺九条二条の二家は其年
御紀あまりしより下りて以前年中より
和文にして奏上一条殿の両家
は御紀の文人の名もの家業を継

△東照宮よりつづくへしよみ

後陽成院の御時に慶長年中に
附　慶長勅版のいにしへの文字のいかにも
書物の校を命じ給ふ同年十月に
活の字を奏せし　詔ありて梓にあらため
同紀を尋ぬる事を命ずる同九年中院
の家也是新刊のことに巻を進らしく
自余の様子を写して　勅定ありし同
同年十二月初く
白河院の御時に蘇白数と勅時佐々木下
さ持ちて後年々勅定同廿年廿月廿

三代経継
祥雲寺の事及起原考
宗基の事

又台徳院殿より菊桐の紋を給ふ事
台徳院殿家紋の御菊桐の紋を
たまはる故に御紋を除し
黒紋を用ゆることなり在世の内
台徳院の御前にて着用せし
紋を付る事の医書の内に見えず
このあとに人々の書系に見ゆ

青山旅宿にて卒し旅宿は白石碑の文に載
三年
台徳院殿より旅宿の御寝所下さる寛
永三年十二月 蒙命を除く菊綴の紋
常に著をうけず是より代々菊桐
の紋と用ゆ○同六年将軍家御下向
まつ寺を建立 祥雲寺と号す○文
同年 霊岸寺と号す○同八年十二月
十日死 八十三 号祥雲寺殿
同寺内に葬る

女子 曲直瀬某妻 玄安院正琳妻
妻 一渓の長女

親清 初親純 今大路玄朔 典薬頭
　道三 一作玄鑑
　母ハ一渓の長女
幼年より 従五位下
台徳院殿小姓となり
寛永二文禄元年十二月玄朔の後
曲直瀬 従五位下叙し昇殿して
玄朔を称す
後陽成院御在代の御勤により
[illegible]

一 某 玄益 法眼 曲直瀬と称し
女子 竹山因幡延康妻
女子 加藤氏 曲直瀬亨徳院 寿徳院玄由妻
女子 津軽土佐守某妻 後田中隠岐某に嫁
女子 某井氏妻
女子

橘姓にて大路氏と称ふ　師のことく居士[illegible]

白[illegible]〇寛文十二年[illegible]

[illegible]七百石[illegible]

[illegible]〇同十九年大坂[illegible]の

住居〇元和九年[illegible]

[illegible]淀[illegible]の附に[illegible]と号安

[illegible]

在住淀殿より[illegible]の[illegible]

〇寛永二年[illegible]

[illegible]と[illegible]

和[illegible]の[illegible]入[illegible]

[illegible]〇同[illegible]年[illegible]落の住居と

[illegible]馬と称す

宗源院殿[illegible]

[illegible]仰下[illegible]

[illegible]下相模[illegible]根[illegible]病ひ

[illegible]九月十九日死[illegible]

湯本早雲寺に葬

[illegible]

妻　渡辺[illegible]女

祐知　玄冶院　正純妻　玄名　部屋子　住候

女子　石尾志摩守治昌妻

親昌　今大路民部大輔　道三　玄鑑　安室

元和八年十月八日
大猷院殿御小姓○同九年曲直瀬従
五位下○同十一年上京
御の曲直瀬
毛の四る拝領上京
謁見拝○寛永二年上洛
供奉　同の時御所の次第

女子　御うち台徳院殿ニ仕へし
女子　浅野弥右衛門妻
女子　高木主水正妻
女子　真田玄蕃妻

供奉す　行幸の時ハ晴御陪の袍
遣子の鞍置候て入御令役の君と同九
月年家督拝領○同十一年
正二月家督文代○同十年
祖父の後の所領五百石父の遺領の領屋
拝領　五百石合て千五百石○同十二
年七月上洛供奉大阪御城へも供
奉○同十三年日光山へ供奉○
寛永十八年四月廿二日
死ス年二十九　法名　寺

後にありて知勤事へと　り十五年
将軍へまかる

大猷院殿御筆并御添状写

妻 かつ 民部少輔忠澄女

親俊

今大路玄鑑大輔 大刀之助

道三 其養父 利貞 道三 玄朔

寛永十七年五月家[illegible]めし出され御医

春日局依願[illegible]正保元年

二月 上京の所へつかハさる 上京[illegible] 御國寺ゟ

[illegible]同六年[illegible]参内安[illegible]

年十二月十九日典薬頭被仰下

[illegible]

天和元年七月朔日[illegible]
同二年[illegible]
[illegible]

同四年正月廿八日上京[illegible]二月廿二日

参内 [illegible] 同年十二月

[illegible]居[illegible]同二年[illegible]

同三年上京 明暦二年[illegible]

寛文二年[illegible]同七年十二

月十九日[illegible]同三年五月病

[illegible]

同月[illegible]日[illegible]

[illegible]

大猷院殿御筆并[illegible]

常憲院殿御筆大字　無不敬の旨書之

著述之分

唐絶寄解　入門考　刷本

魚目明珠　常珠方

一壺集　时齋文集

家伝選方　諸令方

古文復集考　医戒

妻　津軽侍臣作之丞女　後妻伊藤氏

女子　内田氏妻

女子　伊藤氏妻

親民　又三郎

今大路玄朔為嫡後改名

女子

女子

某　早世

親顕　曲直瀬親俊次男

母

動人天和元年十二月廿七日曲直瀬従下

二百石

貞享二年七月十日家督

十二月二日御目見

十二月廿八日曲直瀬

十二月

玄朔

常憲院殿御筆大学或問 毋不敬の御書とふ

著述之書

唐絶寄解　入門考　閲本

魚目明珠　常珠方

一壺集　明齋文集

家安医方　試令方

古文後集考　医戒

妻 津軽信政家臣某女 後妻某氏之間にて某之女

―女子 内田出羽守正親妻 後松平某に嫁

―女子 伊東某妻

親民 又三郎　今大路兵部大輔 従五位下　廿八歳

母 佐竹氏女

初名人見 天和元年十二月廿七日曲直瀬薬院従五位下 貞享二年二月十二日死 年齢二十 葬地

―女子 人見又兵衛沂光妻

―某 元禄 早世

今大路兵部大輔従五位下 玄著

母 某氏

元禄 道三 式部

貞享二年七月十日家督 同年十二月二日御目見 元禄二年

十二月廃蘇　同二年

十二月廿八日曲直瀬人見同年十二月

廿九日上京の儀被仰付同年［illegible］同
六年正月［illegible］御医師と被仰付法印に叙せ
られ御物成被下同八年十二月五日廣
蘇驗上る同十二年十一月廿四日
先年献ぜし所の［illegible］山崎宗信
医の法により［illegible］と撰擧
ありしを賞せらる同六年十二月十
二日医学館中に躋寿館の業を任せらるゝ
ことゝ同八年六月新刊の文
庫書籍と校合［illegible］同年

七月廿日中務の医学子［illegible］章［illegible］
［illegible］書籍［illegible］
編纂す同十二月廿日［illegible］
其の緒文を讀しめらる同十三年四
月四日先に依る同年八月久能山の
宝庫文林庫に收蔵せし［illegible］
観瀾閣［illegible］校合を［illegible］
［illegible］の［illegible］
一人校合［illegible］同十四年四月七日

先代書物は多く御写しとなる年

四文庫の書物は数多ありといへども点本と
老人序文認へしと仰ちらまし嘗
赦拝方と録に記さず 序文と作 次の同年
六月十六日以算要差上同年十月
十八日書写の序と為る同年十二月
和斎阿方得後之同年写し
月七日に右件上編を作
つまり記置き也
東照宮文御筆也候

台徳院殿御遺墨
大猷院殿御懐紙
厳有院殿御手詩御筆
常憲院殿御筆大学或問入
上編を伝へ続く模の写にて学と象
有徳院殿御筆有版の文
二年四月十一月廿九日薨去六十二歳
同年葬
著述の書　講習　尚友堂文集

某 大助 早世

女子 従四一学某妻

元勲 今大路民部大輔 正之 初正之助

母某氏 正之 共年五十六 制作正之

享保九年八月九日初見〇同十二年 今大路民部大輔正村

十二月十八日典薬頭〇同十六年十二月 今大路氏旧名

廿八日叙爵〇同年十月廿八日法印〇同 上総介

十八年十二月十八日

拝領[illegible]度々[illegible]仰付らる[illegible]依〇

元文二年十二月廿日[illegible]〇判[illegible]

寛延元年四月廿日[illegible]人来

某 万里小路

方基 大助 玄節 今大路家行良養子

女子

同月廿日御入[illegible]

聘の行[illegible]りて[illegible]これと

[illegible]を[illegible]人[illegible]様[illegible]

[illegible]〇宝暦九年六月十四日

死[illegible]寺[illegible]

妻 大久保[illegible]女

女子 少[illegible]妻

寿国 今大路民部大輔 正九 初[illegible]之

母[illegible]女 廿[illegible]

宝暦四年十二月廿八日初見〇同

年十二月十八日典薬頭〇同七年十二月廿

九日[illegible]〇同六月[illegible]〇同九年

八月六日[illegible]〇同年九月七日判

某 [illegible]

女子

[illegible]

寛明和四年七月六日死 年六十八 宗
同寺ニ葬
妻 津佐兵衛女為世女

# 正福

元勲二男
今大路元琢 采女 武衛
安之助 母某氏 廿某年
明和四年九月四日若年にて初て御目見
安永二年九月廿一日家を継
医学館再建の時当番を勤
[illegible]某年某月某日某

同年十一月の不時の御用に召されて
住所を賜ふ 同八月八日 [illegible]
召されて○同六年七月
十日圓見医師に准ぜられ
法文書判をも許さる
[illegible]○同四年十二月廿八日初
謁○同五年十二月廿八日曲直瀬某氏
寛政五年七月廿七日死 年四十三
葬同寺に葬
妻 津打氏某女

女子　親興妻
女子　親興長女
女子

親興　今大路雄之助
実根来大膳正武四男
母　某氏
寛政五年十月養子となる
○廣穫勅使御番○同六年五月九日
死十八歳同月廿一日葬
妻　正福女

正庸　今大路中務大輔　梅之助
某年生

実山岡図書某二男
母　山岡某信親女
寛政六年八月二日遺跡を継○廣穫
勅使御門番○同年十二月廿八日曲瀬某
より中務大輔に叙任
高千弐百石
妻　親興長女
後妻　某の女

女子　正庸女
実ニ正福女

養父

摂津

菅原姓

池谷

今川家臣氏真没落後遠江国ニ住

池谷長兵衛利連 [illegible]

実父 池谷久右衛門 初久次郎

養父

母 家女

妻 [illegible] 某女

文昭院様御代宝永六丑年十月継目御朱印被下置
天英院様御附（仕丁より）書役被召出○正徳元卯年十月
同日御朱印頂戴被仰書役○
有徳院様御代享保十巳年六月十八日御朱印被為（二九）
○元文元辰年六月廿六日御朱印頂戴○同六申
年九月廿五日京都御用相勤候被仰付○同六年
年十二月十六日
天英院様御逝去ニ付同年九月十九日一統小普請入
○同年十二月十日

並御朱印頂戴○
惇信院様御逝去ニ付同（延享二丑）年六月十日一統小普請入
○同年七月十日是又御朱印頂戴○
浚明院様御代宝暦十二午年（注二）五月廿五日御広敷九重
御広敷（切手）書役○明和二酉年十二月廿四日老衰ニ付小普請入
○同三戌年八月廿六日病死七十三歳四谷南寺
町宗福寺ニ葬

義陳　池谷重之進

母　高橋兼次郎為某女

妻　同義

高三拾俵三人扶持

安永二年八月十五日御役

宝暦十二午年九月廿八日新規御召出。明和六年

十二月廿日御役

守興　小十人　織田恵七

寛延二巳年六月六日小十人織田要右衛門守寛養子

女子　小普請　竹田右平次郎　元次妻

義行　池谷頼蔵

母某氏

天明八申年七月朔日　御同見　寛政八年

十二月十四日大御番松平織部正組同心中□

妻　松平某組某女

女子二人　同御番　浅井某組□□□之妻

宮邊石衛門　松平伊豆守組中□

つる

かめ

初而西丸御目見ニ而二紀□

藤原姓　接ゝ

飯河

正二位左大臣魚名公二男從四位下民部大丞鷲取末孫美濃國住人飯河能登守資光二十四代飯河新右衛門盛豊之惣領

飯河新右衛門盛豊之三男

盛信

飯河新右衛門　兵十郎

母　書ニ不見

慶長十四己酉年

台徳院殿江御目見　三百石大番○同十九甲寅年

大坂御陣御供○元和元乙卯年大坂御陣ニ騎士

伏見　御供　御留守　江戸　御留守番

大猷院殿江奉仕○寛永十癸酉年　二月廿六日　御目見

知行百石加増　○同○同十八

寛永□年六月十二日病死　年□□　市ヶ谷

萬昌院ニ葬

一　直信　飯河新左衛門　初□十郎

実母　不知

実母　飯河新左衛門盛□女

妻　菅沼□□女

後妻　向井兵□近□□女

寛永八辛未年十一月廿五日　御目見　○同十三□□

年十一月□日大番○同□□年十二月八日

元禄十三年六月卒　正保二年十二月[illegible]

葬[illegible]大方寺境内○養林寺　元[illegible]壬辰年

隠退　家督七百石○寛文巳

[illegible]病死　小高清○惣領　二十[illegible]巳年

此以後[illegible]

（[illegible]）

巳
方信
飯河吉左衛門　方好嫡子
飯河吉左衛門　初　御[illegible]　[illegible]十郎

又
信順
飯河新左衛門
初　平六郎　[illegible]左衛門

大猷院様　御[illegible]上命下　慶安四年卯年九月
御目見　出仕　厳有院様御小姓組方信　同年十二月[illegible]
見　新左衛門直信嫡子

女子三人
二　山岡[illegible]九郎[illegible]妻
三　嫡子直信妻

二廿
信順
飯河新左衛門　初　平六郎　[illegible]左衛門
母　向井[illegible]女
[illegible]母[illegible]

家督○慶安元戊子年十二月四日（正保三年十二月朔日…）
大猷院様於 御前大番組頭○承応元壬辰年
十二月廿二日加増弐百俵都合七百石○寛文四
甲辰年二月四日病免小普請○延宝五丁巳年
十二月十六日病死六十一歳法名□□□寺葬

旧
方信
飯河吉兵衛 卯 御小性 廿四歳
飯河吉兵衛方好養子

文
信順
飯河新右衛門 卯 年十六歳 作右衛門

大猷院様 御小十人之命下 慶安四辛卯年九月
晦日於御 厳有院殿小性組方信同年十二月廿日
兄新右衛門直信養子

女子二人
二 山口平九郎正□妻
三 養子 正信妻

信順（二廿）
（二十五）飯河新右衛門 卯 年十五歳 作右衛門
實母 向井佐渡守忠勝女
二 養母 □□

妻　湯淺佐兵衛孫女

万治四年丑年十二月廿四日長子〇寛文元年丑
年六月八日御目見〇同七年未年十二月九日
部屋住ニ而小性組ニ被召出三百俵〇延宝五年丁巳年
閏十二月十日家督〇延宝九年酉年正月十一日
陸奥出羽越後之内松前巡見使被仰付相役
時枝之丞度保田甚之丞宗郷佐々長之
部成澄二人相勤〇貞享元甲子年十二月廿
七日小普請組入今日役〇同三丙寅年二月

十二月
上総國武射郡相模國高座郡之内都合三百石相渡
近江國蒲生郡之内一郡之内満加増
稲葉丹後守正通ニ御預〇宝永元甲申年
九月十九日老衰小普請入〇正徳二壬辰年九月
十二日病死七十九歳九条同寺ニ葬

某

直大（モト）

領河内守

杉

妻　堀　家女

妻　大久保大蔵忠教孫女

妻 飯河善右衛門方経女

後妻 依田某女

延宝七己未年十一月廿六日養子○貞享三丙寅年二月十九日 御目見○元禄六癸酉年十二月九日御代官切米二百俵○同十丁丑年閏二月十九日○同年四月廿二日○同年八月廿日○正徳二壬辰年二月十日病死

某 女子

飯河平六郎妻

信昌

飯河精母

実母 家女

実母 岡部左七正房女

妻 長又直大女

後妻 天野三郎兵衛康命女

寛永七庚寅年七月晦日御目見○正保二乙酉年

年六月廿六日家督○同二乙亥年閏

寛文十一日祖父佐須備前義祖父永職同年十二月廿
六日嫡孫ニ而祖家督七百石被下置追而祖父知行之内三百
俵之儀者祖父附之者共ニ被下置候享保六年丑年四月
二日四十七歳ニ而病死同九年十二月十五日二十九歳ニ而
隠居享保六年六月剃髪名四郎兵衛延享四丁卯年
三月廿七日病死同所ニ葬

女子
某妻

女子

包信
佐須伝右衛門

母
大坪三郎兵衛女

妻
錦織佐市右衛門女

延享四丁卯年六月二日家督相続小姓組被仰付宝暦
二壬申年九月十日御書院番被仰付同七丁丑年
十月廿日病死小姓組被仰付
病死同所ニ葬

二
信親
佐須新右衛門
初之名
水

二百七十石

母 神保紀伊守忠政女

妻 石丸式部少輔某女 後離別

後妻 法眼 草玄常觀女

明和七庚寅年七月家督 小普請 同年十一月

月七日 徒頭 安永六丁酉年七月九日 小普請

院番 天明八戊申年十一月 書院番

七未年十二月十日

時頭取 寛政 年十二月

三 女子 神保紀伊守 妻

女子

信保 飯河保之助 母某

女子 飯河若狭左衛門妻 同人後妻

某 孝信 飯河 某 母

某 飯河新次郎

某 孝経 飯河 某

某　須河弥五郎

某　初名　須河新十郎

某　猪之助

女子

寛政呈譜　平氏支流　萩原姓　杉ノ

須河

豊田四郎大夫　初名豊田二郎
豊田紀参る　初二郎　資盛之後流　資盛より長寛二年日月

称白　二条院勤仕之

居住国須河庄ニ移氏とす須河継中興

須河新太郎

盛之

盛之　新太郎
男於信濃国須河ニ住之後居住国ニ上り小田氏ニ浪人仕天庵まつり之須河ニ年須河蔵主と号の此付記

天正三年三月より

東照宮に[illegible]被召出御奉仕す

○慶長十九年大坂御陣の時
台徳院殿御供

上意にて出家致し長安八王子小田原奥方(?)ニ而
御陣供奉慶長十一年六月晦日死
八拾四歳江戸牛込万昌院ニ葬

盛政

飯河藤次郎

母 某氏
慶長七年
台徳院殿ニ御目見○大番○同十一年
家督○同十九年大坂御陣供奉

一 ○寛永二年十二月十二日 上意によって
相州ニ而采地弐百弐拾石余被下(?)
○同十年加増弐百石○同十一年大坂
御目付○万治元年正月十六日
大坂ニて死七拾二歳天満寺ニ葬

盛直

二男

飯河与之助

台徳院殿の命ニよりて...

新番ニ列す 大番 寛永十一年

同月廿九日死 嗣子なく家絶

盛仁 [illegible]
吉姫 [illegible]
女子 [illegible]

盛次 飯河新右衛門 [illegible] 六男

飯河甚十郎

新五郎 [illegible]

寛永四年十二月晦日死 嗣子なく家絶

盛京 母同 [illegible]

寛永九年八月十九日 [illegible] 十月 [illegible]

照顕 母同 [illegible]

正保二年十二月 [illegible]

天和三年 [illegible]

女子 [illegible]

盛令 [illegible]

照顕 [illegible]

盛在 [illegible]

盛平 [illegible]

栄 [illegible]

妻 [illegible]

盛平 [illegible]

飯河 [illegible]

四月廿九日死 嗣子なくして家絶

盛代 [illegible]
飯河[illegible]組 [illegible]

女子 福井伊左衛門妻

某 平四郎
安永八年二月[illegible] 池田信濃守[illegible]

某 [illegible]
飯河[illegible]

女子 [illegible]妻

女子

女子

女子

盛澄 飯河甚四郎 [illegible]妻
母某氏
明暦元年二月十五日初御目見 万治元年[illegible] 寛文九年十一月廿七日大坂[illegible]にて死 大坂天満[illegible]葬
妻 [illegible]女

盛令 [illegible]
盛顕 [illegible]
盛府 [illegible]
盛平 [illegible]

盛平 飯河加兵衛 甚四郎

寛文九年若子○同年十二月十二日
家綱公○御目見○延宝二年二月十九日大番
元禄九年十二月二十六日粮米[illegible]俵
○宝永元年九月七日大番組頭○
享保元年九月廿六日死六拾四歳法名
道翁[illegible]葬
妻 川口[illegible]女

一 宜篤 早世
二 某 [illegible]
三 女子 [illegible]
四 女子 [illegible]
七 女子 [illegible]

宜篤 須賀[illegible] 平十郎
母[illegible]
寛文[illegible]年[illegible]
綱吉公○御目見○享保元年十二月四日家督

女子 [illegible]
女子 [illegible]

一 綱吉公○同七年十
二月十六日大番○元文元年十二月
十日死年七十四[illegible]葬
妻 [illegible]女

盛篤 須賀新太郎 数馬
母[illegible]女
元文元年十二月廿六日家督○寛保
元年[illegible]○宝暦元年二月
廿八日大番○明和二年十二月廿七日
西丸[illegible]番○安永六年正月晦日

死年拾九歳同月葬

妻 服部六左衛門伸信女
後妻 小笠原加右衛門三男某女
後妻 柳生某某女

女子
女子
女子 二人 早世

盛寿 服部蔵次郎 実之助

母 某氏女

安永六年正月六日御目見○同年
十二月廿二日家督相続○寛政元年
七月二日死弐拾七歳同月葬

女子 某氏某妻

盛征 服部三郎 松之助

一 実西尾某之宮氏次男

女子 某氏女

一 母 某氏女

三百弐拾石

寛政元年十月二日家督相続○同年
十二月十八日御目見○同年十一月十
三日大番

妻 某氏女

三十一　後

一　斎東姓

頼河

先祖維之丞資寛文已後同國住居

仕豊國ニ移安永二年巳月朔日

二條殿御家初之間出羽頼河

於ニ移家名頼河ト改太夫寛

二十五代

當之　新太郎

元和二三年　部屋住ニ而被召出
権現様江　御目見仕仕候
一　同年小田原御陣御供
台徳院様大坂両御陣御供　慶安四卯年
六月病死　歳五十五歳

豊政　若狭守
一　慶長七寅年

一　台徳院様江　御目見仕御小姓相勤候　何茂
御知行　高五百石　元和三巳年十二月十九
日　寛永十二亥年　寛永十六卯年
十二月十二日　大猷院様御代　加増二百石
大番頭　御目付相勤　頭役　相模
大番頭　知行二千石　寛文十酉年
御役御免　寛文十二子年
病死　七十二歳

豊直　主膳
一　寛永五辰年

新組大御番組寛文十一年四月十五日

死　年月不知

盛淑　与十郎

延宝四年　仕官　寛文元年二月御番　死

不絶

政照　平四郎

大番組　御徒　初名

大番頭　明暦二年八月廿四日死　二十年

子孫

盛澄　甚四郎

明暦元未年二月十五日御目見ニ而御番　同二年　次男　初名

年　家督ヲ小普請ニ而　同二年七月　御

大番頭ニ而寛文九酉年十二月廿七日　[illegible]

仮名相改　五十俵大番組ニ相成

盛章　甚四郎　二男　大御番

寛文九酉年　甚四郎跡ヲ継　同年十二月十二日家督

ニ而　二百俵　二月十九日大御番ニ而　[illegible]　[illegible]

宝永年中九月廿日跡式被仰付享保五子
年九月廿五日死 六十七

宣篤（ノブアツ） 実ハ荻沼平兵衛二男 平十郎 左内

享保五子年十二月四日家督同七寅年
十二月十六日大番ニ入元文五申年十二月
十日死 四十七

盛篤 彦平 新右衛門

元文五申年十二月廿七日家督被仰付安永六酉
年正月晦日死 四十九

盛壽 英之助 彦右衛門

安永六酉年四月廿六日家督被仰付寛政元酉
年七月廿九日死 五十七歳

若東氏

駿河

右兵衛尉以前兵部大輔稽記

ちょうど昔駿河権中将見え二千代

駿河前兵部盛資三男

實名　清光

前名　清長

明暦元未年十二月廿四日…

持之

年七月任大番組頭同年任信濃守宝暦七丑年
八月十六日新番頭ニ転ス同年七月廿六日任
若狭守同十二年十月十二日新番頭
菊間ニ入ル明和四亥年六月廿九日卒
年七十 浄輪

女子 盛之妻
女子 長井某妻

家信 市之丞 二郎左衛門
元禄五申年七月廿五日家督ヲ継十五年
御番入同十六年
二百石

国盛 源太郎
宝永七寅年正月 家督 享保二
酉年六月廿八日死

盛氏 源三郎
享保二酉年六月 家督
六月廿五日死

実ハ田沢[illegible]二男

国光　源右衛門　庄八

母　松田氏

同七年十二月九日刑部[illegible]
二月[illegible]

享保十五戌年八月[illegible]宝暦十
辰年[illegible]死　歳五十一

妻　[illegible]

女子

田沢[illegible]

右国　母　[illegible]氏

源右衛門　[illegible]

宝暦十辰年八月[illegible]寛政七卯年

同年[illegible]源居

右明　源右衛門　郎

寛政元年[illegible]

同十二年十二月[illegible]
[illegible]七年[illegible]
改元年[illegible]
[illegible]

上山路　[illegible]

右明　源[illegible]

豊久　[illegible]

女子

女子

女子

右明　源左衛門

母　[illegible]氏

寛政元年[illegible]七年[illegible]

[illegible]

妻　[illegible]女

[illegible]

[illegible]

十月十七日病死
寛政元年十月廿五日甲
府和田ニ

宝暦十辰年八月下旬式寛[illegible]年

同月隠居

吉明　源左衛門　鍋次郎

寛政元年十二月[illegible]家督[illegible]

土山孫　[illegible]
同源左衛門二而病死

吉明　源之丞

豊久　治郎八郎

女子

女子

女子

吉明　鍋次郎　源左衛門
母　[illegible]氏
寛政元年十二月[illegible]七年[illegible]
[illegible]
妻　[illegible]女

豊吉　源之丞

[illegible]　[illegible]　早世
[illegible]

豊国　[illegible]
母　[illegible]女

[illegible]吉　[illegible]

同十五年
大御番ニ
七月廿日
改名年
府和ニ

圓右衛門　清右衛門　寅八

実子田沢主税…

母 松田氏

同七年十二月九日刑部ニ養…
二月廿六日病死

享保十五戌年…

安永十…

菊亭姓

駿河

駿河新右衛門盛重之嫡男

駿河岩之丞

方好

母ハ某

台徳院殿慶長十九寅年江戸ニ於テ御目見

甲州浅野ニ而百石ニ寅年大坂御陣

上総ニ卯年御陣ニ而依ち人数五十人…

寛永十九年四月…

江戸ニ於テ明暦二丙申年正月廿七日
病死ス、于時三十三歳、小日向龍興寺ニ葬ル

三歳ニ而父ノ遺跡ヲ相続
後河内守ト改ム　隼人正　初雅楽介

方信　母某氏

明暦二丙申年十二月廿一日家督ヲ相続ス
○同三丁酉年正月初テ御目見ス、寛文九己酉年
六月十三日奏者番ニ成ル、同十庚戌年十二月廿五日
従五位下加賀守ニ叙任ス、延宝七己未年十月廿三日九日

甲府綱豊卿ノ家老ニ附属ス、綱豊卿大納言
将軍家ノ御養君ト成リ給フニ依テ西丸ニ入御ノ時御付
ニ成ル、今ニ寛敷ニ附ケ○同八庚申年二月廿
六日加賀守ト改メ、同年加賀守正信ト同八月廿五日
布衣○天和二壬戌年三月廿一日将軍家宣御代 称
西丸御小姓○元禄元戊辰年十一月
廿日御役御免、寄合ニ同十一卯年隠居
○同十四巳年二月十八日死去七十五歳、同所ニ
葬ル

富信
新十郎 後号… 妻 …久 …女 …二…
宝永年中…　小納戸 …二…
　　吉兵衛　初 …

修信
元禄十年十二月十二日生
元禄十二卯年七月六日家督ノ家禄二百石
年二月…御書院番
…正徳二辰年十二月廿日
…享保…
…今…
上…月…
…

女子
相川…之室…
女子
…
女子
修信…

…二丸ニ於テ…精…
…上…月…年九月…病死
…享…年二月十…
…
　　母

光信　…

仲信　母 …女
…元年七月二十日…
享保…年…
…年十二月十日…七歳…

時信　久…
　　母某女

女子 順□□□□□□□
嫁□山□□□□□□妻
女子
□□□□□□□□妻

元文二□十一月□□□生
宝暦七丁丑年十二月廿七日家督同十二年
年九月廿八日死 同□泉岳寺
妻 □□甲斐守正之女 後妻 □□□□正猶女
同十年十二月廿八日 □□□□

# 信門

岩本□□ 実松平□□□□備中三男

高千百石 於信州□□

母某氏

宝暦十二壬午年十二月十七日家督同十三年三月廿七日継目御礼○安永二年四月十二日西丸御書院番○同四年八月廿六日病免○天明元年四月廿八日小納戸○同二年十二月十二日布衣○同三年十二月廿六日□□○同□年□月□日□□○□□六年五月□日□□
三月 若年寄□

妻 [illegible]

他□部
母子□□人
信□ 母□□ 宝□□七年□月□□□生

# 源姓

# 岩本

新田三郎義光十八代岩本六郎兵衛村 正弘 三河国加茂郡□□□□□□□ 岩本 [illegible]
次郎兵衛 正次 慶長年中
頼宣卿に附 次郎兵衛 正家
同相 岩本次郎兵衛 正辰 其子実
紀伊殿附 □□市右衛門 政友二男

接ぐ

正房　岩本内膳正　始　半太郎　八郎左衛門　又　能登守

養母　紀伊殿医師　板坂卜斎安春学女

実母　家女

妻　紀伊殿医師　板坂卜斎春意女

元禄十五午年六月八日

有徳院殿紀伊国ニ在　岩本氏ニ依テ新規ニ召抱

宝永五子年八月廿六日次郎左衛門与改　岩本子と

罷出江戸ニ岩本氏お為ニ小性ニ而勤

○正徳六申年五月

有徳院殿御代ニ為成候節紀伊家ゟ御供ニて

江戸御城へ入同月十二日御目見被仰付御小性　様

任ニ同年同六月廿日ゟ御小性同十二月従五位下叙　能登守と

改　御小性○同七月廿六日諱之文字被下○享

保九辰年御側御用御用取次被仰付采地

被下○同十二申年正月廿七日目見　四千石

加増○同年二月十日ゟ御役宛被下

大御所様御付ニ被為成候ニ付御附ニ而御勤○

同十八未年四月廿八日小十人頭○寛保元酉年

有徳院殿御小性組ニ被召出〇寛延元辰年
十二月十二日病死六十六歳麹町善国寺ニ葬

二
正村　岩本武郎　初　伝左衛門
享保十七年十月十二日部屋住（母ハ某ノ女）
寛保元酉年二月小普請組支配
惇信院殿御代同二十卯年十二月廿八日病死
十七　麹町善国寺ニ葬

三
正久　岩本頼母　初　槌次郎　修理

〇右御書付之通り相渡（?）

母　根津某女
妻　無之

有徳院様御代兄武郎正村病死仕候ニ付享保二十
卯年十二月廿八日跡式被仰付〇元文元辰年十二月廿三日
同年十二月十五日西丸〇同月廿五日
小性〇寛保二戌年十二月十八日御小性組被成
下同月廿一日　四谷ニ罷在候〇延享
二丑年九月　卯
有徳院様西丸　御小性組〇寛延二

巳年四月十八日病死 二十六歳 寺ニ葬

五
正利 呉服問屋正次 幼名亀助 後號藤兵衛
元文四年未三月六日大岡越前守宅ニ於テ家督[illegible]
兄正次家督子ト申付[illegible]收之

六
正信 呉服所 幼名豊次郎
延享二丑年七月十七日
呉服所家督被仰付 同七未年
十月十日[illegible]
[illegible]寛政元酉年六月廿七日

刑部ノ[illegible]人

一
女子 [illegible] 市岩[illegible]妻
[illegible]七月[illegible]
[illegible]寛政三年十二月[illegible]
[illegible]
[illegible]寛政二年
十月[illegible]

四
長女 小野田
[illegible]女
[illegible]

正利

安永四卯 黒田内膳正 初虎之助 後綱政 号用信

実母不知

実母 植頭抱 外山権右衛門女

妻 右黒田長舒妹 梅田某女

子二

家督 上野國之内 ○領國之内

寛政二巳年七月 中 十六日 小納戸○

同年十二月廿七日 小納戸 奥 八日 布衣○同之

午年十月 小姓○同年十二月十八日 従五位下

因幡守○同○年六月廿日

有徳院様 薨御 有同年七月十 西丸○宝暦

三酉年六月廿六日 西丸小納戸○同十辰年四月十二

日 西丸 御 橋 部

惇信院様 二丸 小姓 御 ○同十一巳年六月

十二日

惇信院様 薨御 有 ○

西丸 ○同十二年十一月十 日 ○門

年十二月十六日
孝恭院様ニ御附被　仰付御用見人○同十九
申年二月十五日西丸ニ罷付○西丸御留守年
十二月十九日御側御用取次見習被仰付今之役
○同丑申年十二月廿四日小普請支配○同六
酉年十二月六日於西丸御用濃御用懸
○同月廿八日於西丸附被仰付○同年増高
浚明院様御霊屋御修復御用十二月廿二日附被
今之役○同七卯年田安少将殿御霊屋御用

同年十二月廿八日附被仰付今之役○同八辰年
孝恭院様御葬送御用同月廿二日附被仰付
○同年東叡山　御霊屋　御建立御用
御宮御霊屋御用并日光山　御宮御霊屋
御用并御修復御用九月午年七月廿七日附被仰
今之役并御霊屋御修覆御用
佳○同年日光准后宮御用并御法事
轉法院御建立御用同十二月附被仰付
○同年大奥御修覆御用同廿七日附被

銀子五枚〇同十四年大奥女中例　御修覆ニ
用兼勤ニ付二ノ丸元文元年十二月廿日時服弐
金弐枚〇同年西丸大奥御殿御向長局一
之間御修覆西丸大奥長局新規御普請御用
十月廿八日時服弐金弐枚置引ニ付別段金弐枚
〇同二寅年紅葉山上野之方　御本丸御修覆
閏十月十八日時服三金七枚別段時服弐〇同月
廿六日御普請奉行〇同年小普請奉行勤役
中大奥ノ例并模例西丸大奥之例御修覆

閏十二月六日時服弐金五枚置引ニ付別段金弐（右御修覆）
枚〇同五巳年九月十日大目付（此節百石加増）五百石高ニ御加
増〇同六午年二月七日宗門改加役〇同年
七月二日上野国館林城受取ニ付罷越ス〇同七
未年三月朔日御作事奉行五百石加増〇
同月廿八日御留守居〇同年八月廿四日上野
国館林城同国伊勢崎城上州国前橋城ニ而
於ケ所御普請ニ付〇同八年十月十二日

年十二月十日御番目
見…御納戸…同日御目見
仰付候、…
同日西丸御書院番…
…御書院番…
…
同八年…
…
一月廿五日…
…二組一同…
…
同十年六月朔日…
…御書院番…
…
同十三日…御番目見

御系図被仕替○同八申年六月朔日西丸
（同八年二月十九日…）
御書院番被仰○寛政二戌年正月二日依申立御家
九郎○同三亥年十二月廿日 御系図被仕替
…

巳

正倫　岩本石見守　初　正五郎

妻　…

寛政二巳年十二月廿六日　御目見○同八申年

十二月廿九日御切米三百俵下置…○同六酉
年十二月十九日小納戸○同年十二月十八日布衣
○同七戌年正月廿八日奥向勤方格別出精仕ニ付
…○同年十二月廿一日西丸
川勤　御城ニ而…
同八亥年五月十二日奥向大納…
…○同年八月二日　御城
…
二丸…

寛文三年 御目見〇同六年九月八日
[illegible] 同年十月七日[illegible]
[illegible]小納戸〇同年十二月二十八日[illegible]
〇同七年八月二日[illegible]小納戸[illegible]〇同月八日
御書院番[illegible]
[illegible]〇寛政元年[illegible]月十二日[illegible]
[illegible]〇同二年七月七日[illegible]
[illegible]
[illegible]〇同二年二月[illegible]

[illegible] 同月〇同年十二月十九日[illegible]
[illegible]

一 女子
大久保[illegible]忠[illegible]妻
[illegible]

二 女子
一橋[illegible]

三 女子
[illegible]妻

養女
実大久保[illegible]忠[illegible]女
[illegible]妻

同じく野一ヶ所用の中之書付
右弟分三百令之蔵所領二

一六

# 吉安

山村十郎左衛門良候

母某氏 構〔某〕年之敵甲之女

三

同年十二月 … 同年十二月 … 野馬掛 …

七

## 正脩

正倫也 岩之丞 法名

宝永六年七月廿八日 … 八月十五日 … 同年九月廿七日 …

同月六日 … 七之… 同七年九月 … 同年十二月 … 同八年二月廿五日 … 同年十二月 … 同九年五月 … 駿河国 … 同十年十一月九日 …

再閲

菅原姓

生駒

家紋 丸ノ内二車 三ッ盛甲

従五位下 生駒加賀守 親重

豊政 長子 母某氏 生駒 親重

生駒久道 人道ハ … 家宗ハ 長子

生駒雅楽頭 従五位下

# 親正

初甚助 親重 近世

大永六年濃州土田村ニ生ル

某 殿御下
某 修理亮

世々大乱ゆへ濃尾の間に数度の
高名ありて互に助力せし生駒甚助
蜂須賀小六(後彦右衛門 阿波守父也)正勝等也。
永禄九年木下藤吉郎墨俣に
要害を築き織田殿に從へ取りて要塞
しかし木曽川畔の岩を盾として
取りそこに元亀元年四月織田家の
國今浜城を攻落して江州浅井
一党の叛逆に依て信長洛の時也
敗後は大事にして木下藤吉郎

自ら後殿す信長其功を感し
四人の雄士と称らる生駒甚助蜂須賀
加賀小六木村常陸介前野将右衛門
等也(後但馬守)の後他国に後達たる事なし此陣
営よりて秀吉の手勢として旗下に属
(感状数通)天正四年の末大坂本願寺光
佐門徒と合戦勝利を得し後(?)
秀吉より返状を給ひ同十二年秀吉
に播州にて依て小田原(?)年 江戸に居て
子孫の家にて秀吉よりの感状

ありし也○同十年六月二日信長薨去
の後秀吉に属し忠勤をはけみ同十一年
志津か嶽の役に軍列を定めし時一番に
備へ小寺官兵衛孝高と共に同
十二年小牧陣の時秀吉の命により
泉州岸和田城の守衛として忠勤
根来雑賀の一揆攻来りし時防戦なりし二月廿二日
岸和田の一揆退治の賞として播州の
内三千石を領せらる感状○同十三年近江
にて領せらる加恩弐万二千五百石

感状を領す前同○同十四年勢州神戸
城三万石を領し又播州にて横城をも領せし
一万石○同十八年駿河國を領す
但し陸奥守成政転封肥後国を領する同月
尾張国佐渡守を領し又遠江国を雅楽頭に
あらし八月十日より式部少輔を改め叙任すへし○同年命を
蒙りて堀尾帯刀吉晴中村式部少輔
一氏など小年寄と称す○同十八年三月
生駒雅楽頭蜂須賀阿波守と称せらる
此の事文武に秀でし人民親のみる

韮山城ゟ向ひ又小田原城之役○同十九
年九月　秀吉大明国を征するの
評議ありし
東照公及前田利家浮田秀家毛利輝元
小早川隆景上杉景勝石田三成堀尾吉晴
浅野長政前田玄以増田長盛石田
三成長束 正家小西か 行長加藤清正ニ渡海
せしむ○同二十年三月　秀吉の命を
奉し　東照宮五百人を率ゐて朝鮮に
渡らむとす豊臣秀次佐々成政親の名之子

七百人を合せて九千五百人名護屋 陣所に三万余とも
に陣す小西行長加藤清正長政等ニ先陣して
朝鮮に渡る黒田甲斐守長政なり利家大坂に○文禄二年
雅楽殿大坂にて子息秀頼誕生あり
朝鮮より帰る○同三年大坂の役後を定
かへ伏見城を築く 七月十五日 ○慶長三年七
月十八日　秀吉病ニ伏見城殿閣にて
雖效なし　秀吉
東照宮を招きて我死去の後秀頼
十歳まで我に代りて政を執るへし
東照宮之辞して受給す八月八日

秀吉違例増長

東照宮者内大臣大納言利家者権中納言
輝元者中納言秀家者参議中納言
景勝生駒近正 中村一氏 堀尾
吉晴前田徳善院玄以法印浅野
弾正少弼長政増田右衛門尉長盛石
田治部少輔三成長束大蔵大輔正家
なと云々秀頼ニ対し異心なく忠誠を
尽へきよし連判の誓詞を成し実
老之花の誓詞ハ反古ニ清ら

行の誓詞ハ老中に渡し同く秀吉乃
御前ニ而定ゑ所司代前田連署ニて誓詞
同と敵せ同十日石田三成連判し
不ニ御ニ従ひ江戸へ今日御直判成
され違例に増候ニ付
申けり同十八日前関白太政大臣従一位
豊臣秀吉薨去六十二歳○同年
六月景勝在国の時近正病死ニ付
在国息一正
東照宮ニ降人関東ニ於て向ひ近正

中吾嘉老として召具せしむ一正に従ひ
居住へしところ同年七月秀秋
中納言と丹後国田辺城を攻の時
ハ攻めて家臣大塚宗安正侍大将
として讃る三千騎田辺城に到る城
主細川入道幽斎桃鉄を訊和歎に及に違
すとも云く　勅使と称る和平す
其後近正に高野山に入て罪を宥
東す御免同九月薙髪して退居
の身となりの同八年二月十二日讃岐
國にて松嶋にて卒す七十八歳法名□月
とおくる高野山にて彼光廟を洛陽
妙心寺中玉龍院に建
妻 [illegible]某作右衛門某女

一正 生駒讃岐守 従四位下 [illegible]
母 [illegible]某女
弘治元年二月濃州尾張国邑に生る
[illegible]
天正六年二月織田信長[illegible]
[illegible]
武名をあらはす○天正十九年[illegible]父

女子 [illegible]
某 七郎[illegible]
女子 [illegible]
[illegible]○文禄
元年[illegible]

と同じく朝鮮征伐の時兵二千二百人
を率ひて海を渡す〇慶長二年
二月廿一日二度朝鮮出陣の時七番
の備に一組七千二百人蜂須賀阿波守
家政二千七百人生駒讃岐守一正二千
二百人脇坂中務少輔安治合して二千
千百人昌原にて示して在陣時に漢
南大軍来りて漢城在京又の在城
蔚山を囲の時後詰として唐南人
殺す由付補し又南京城を攻むれ〇

同年京勝陣の時子息政徳を
付し
東照宮に従ひ奉る〇同年八月石田三成
叛逆の時下野小山より帰るに先え
立て田中兵部大輔長政忠勝
セらる福島正則中村一氏浅野の役
岐阜城を攻同廿二日合戸川を渡て
廿三日岐阜城を責崩し別に江戸へ
注進として加藤嘉明の書を添同年九月十五日
関ヶ原のたゝかひにして軍忠ありて

従士服坂孫右衛門男兵六郎関原に
於て高名あり村上右衛門と云ふ敵と
戦ひ之を討て首級を得る○同六年
六月家督を継ぎ讃岐国十七万石余八
百石を領す○同七年丸亀城を
廃して高松城に移る○同十年十一
正妻 堀尾帯刀吉晴女 嫡女 安東より向す
将軍家より家康公の上意にて 堀尾帯刀の娘を娶る
慶長十四年五月廿二日之○同十八年二月十八日死
年六十六 讃岐国高松法泉寺に葬

慶長十年八月 従五位下
同年八月 叙爵

# 正俊

生駒讃岐守従四位下
妻 藤堂大学頭家の養女
左近将監 一九
慶長十八年二月家督讃岐国
一国領す 将軍家より偏諱を賜ふ 慶長十六年正月廿七日
○同十七年駿府に参勤二月廿八日
白根子安正勝十余名を率ひ数寄屋
にて松平陸奥守政宗と同じく政宗と
御前に召され同じく御入番旗日野
大納言資勝公共に伴ひ同六月江

府より来観し
台徳院殿に拝謁す又駿府より供奉し
帰府す○同十九年十一月大坂の陣
同十七日従者と御陣より来て拝謁
伝右の陣場ハ船場堀の角なりしかハ
松平陸奥守政宗の陣より御和睦
以後家来森出羽守に預け置きし
玄蕃
安濃郡にて拝謁を許され其外より腰物
を下さる○同二十年大坂再乱の初

某之　長門
実は西化某の子
玉房　たつ　某の妻となる

正信

五月朔日二条の城にて
東照宮に拝謁し御盃を賜ふ
台徳院殿にも拝謁す○元和二年十二月
従五位下に叙す○同二年大坂の城普請
の時大角矢倉石献上の事を尋ね二度御
母ハ
稲沼中納言某の女
母ハ
同池田中納言某の女
母ハ
某の女
二月廿日○元和七年十一月廿日死ス年十八
理剣院法泉寺に葬る
実は某の女
生駒某妹
豊臣家に仕へ元和元年落城の後

同年七月十二日讃岐守に叙す 十二歳

女子 藤堂宮内少輔高通室
女子 松平右京大夫輝興室
正俊 壱岐守 早世
女子 藤堂主水正高継室

高俊 生駒壱岐守従四位下
國松 小法師
母 藤堂和泉守高虎養女 実は松平下総守忠明女
元和七年七月父が遺跡を継ぎ讃岐一国
拾七万三千石余を領す 寛永二
年
十二月所々に居住 同年八月廿九日従四
位下 同年母病気により

物分仁在る故に度々下さる 同十一年
八月四日領國を召上らる 同十六年
八月廿七日
大猷院殿の姫君を婚礼の時銀の作り
物の鉢を献上 同十七年八月廿六日
家人強訴により国除かれ出羽国
由利郡矢嶋の庄にて壱万石を給
万治二年六月十六日死 四十九歳
法名 龍源寺殿
室 土井大炊頭利勝女

信明 初信明 権之助
親興 兄高清か養子となる
女子 生駒権右衛門某か妻
女子 某田某叔某妻
某 某吾 閑斎 某か養子
某 某姉 某か養子となる

高清 生駒右馬助 友松 左近

母は野間氏

万治元年九月廿一日厳有院殿にまみえ○同二年九月廿八日家督を継、千石を領す、故ありて後明る子重徳のとき、武子石をもつて同月家督を継、九千石以上の列に入○元禄七年九月七日死す 年 二十 江戸浅草海禅寺に葬る

親興 生駒主殿 甚松

初高重

寛文十年六月朔日初めてまみえ○元禄七年十二月十二日家督○同十五年四月廿六日死す 年三十七 同寺に葬る

妻 大村因幡守純長か女

母は村越某か娘
信定 小三郎 直親
生駒権之助信明か養子となる

正親 生駒玄蕃 長松 小次郎

母は某氏

元禄十年十月廿八日初めてまみえ○同十五

一 親行 主殿
又三郎 ……女

一 女子
……室

一 女子
酒井……妻

年二月廿三日家督○寶永二年
三月廿七日死于九条同寺葬
妻 保田内膳正宗仁女

親猶 生駒主殿 主膳 百花
寶永三年四月廿四日家督○寶暦二
年七月廿八日死六十三于九条同寺葬
妻 織田縫殿助長住羽妻

一 親長 右京

親賢 生駒主膳 亀次郎 大花
刑部 内記 主殿

一 親芳 直
女子
……女

一 親信 初長備 生駒大膳
享保十六年三月廿二日初見○寶暦
二年十月四日家督○同十年九月廿日
随自光院殿上京被遣同年十二月
廿八日帰国○明和六年九月八日至別
熱海入湯十月十二日帰府○同八年
八月八日致仕○天明六年十月廿二日
死七十于九条同寺葬
妻 水野日向守勝政女

実丹羽左京大夫高寛二男

宝暦十二年十二月廿九日生於江戸○同十

四年四月十八日初見○明和七年七月

廿六日死〔四年十一〕年九葬同寺葬

妻 津田宇右衛門信成女

親篤予女 親睦妻後村上三十郎正親妻

生駒監物 三九郎

女子

女子 津田宇右衛門信成女

女子 親睦妻トナル

女子 本多千代松妻

女子 親睦ノ女母

女子 上田

# 親睦

実本多縫殿頭〔西尾隠岐守〕丹 忠成

明和七年十一月廿九日生於江戸○同八

年三月廿五日初見○同〔日〕寛政元年八

月八日為嫡○安永五年八月廿二日

只性但牧市次郎出仕九月廿九日

市次郎改書院番○天明元年依病

辞之○同九年七月朔日在京ニ付

出勤○寛政元年六月四日ニ京勤

○同二年二月十二日死年三十九葬同寺

葬

妻 親貞女 生母

△是迄三代の別とあり是より以下は

代々京都への勤めなり此代附

にて家と申すは是より

京都の勤めとなる

女子

女子

# 親章

母 親睦 妾 某女

実親睦女親睦養子として生駒主殿子

為之嫡子寛政二年嫡子相続後実子媛

生駒主殿

斧太郎

二三八子在

女子 実敦卿女 将監中門… 妻

女子 為… 教統妻

天明二年六月七日叙爵○寛政二年九月廿日初見○同四年十二月十二日左衛門佐○出家○同年六月廿四日

系観

妻 [illegible] 女

菅原姓

生約

大蔵卿 [illegible] 之 [illegible] 人生約 [illegible]

次嗣

續明 生約 隠居 了承 千秋

母 家女

妻

是より実定[illegible]

万治元戊戌年九月廿四日　御目見○同二年
十二月廿六日松平備前守組父跡
高三百石内御蔵米ニ而八十石被下置御書
院番被仰付○元禄十二己卯年七月廿日
隠居剃髪一乗○享保九甲辰年八月廿日
病死七拾七歳浅草海禅寺ニ葬

俊定
[illegible]
生羽ニ而相　初名小三郎

養母　無之
実母　家女
妻　松田右馬勝廣女
[illegible]
元禄十二己卯年七月六日家督○同年八月廿三日
御目見ゆ○元文二戊午年六月廿二日病死
六拾七歳同寺ニ葬

俊民
生羽　登　初小三郎　翻負ニ而相
母　松田右馬勝廣女
妻　松平圖書頭勝芳女

元文二巳年十二月廿八日御目見〇同年
九月二日家督番入〇延享二丑年（同年十二月十九日跡目被仰付）室十二
月廿六日西丸小性組〇寛延二己酉年十二月
十二日御使番（同年十二月十六日）布衣被仰付〇同年六月十九日
大坂目付代廿一日出立今日帰着〇同甲戌
年正月御目付〇同九己卯年七月廿六日（諱）
病死同月六日葬同寺

女子三人（寛延四年）小笠原（小幡）母直妻
法永年中（?）妻

女子

某（寛政女同人）

勝易（初 修人）（寛延四年）松岡相模守（寛延元年 年九月十二日小性組 松岡兵庫ノ勝法養子）初 甚右衛門 號 庚

信経 生駒 登 初 小三郎

母 松平園書勝芳女（松平某女）
書 甚蔵

高 五百石 御 本国 同
宝暦九己卯年閏七月二日家督小普請
〇同十庚辰年十月二日御目見〇同年
某 ... 江

広敷之間附属被仰付十四日忌之忌○同十二年
年正月廿五日小普請入○同年十二月五日小普請
小普請○安永十辛丑年正月十一日御役番○
同十年十二月辞職○天明二壬寅年十月十日火事場
見廻兼役○同八戊申年十月廿七日病免○家
合寛政十二年三月十八日致仕隠居

○

桂院様御経冊御色紙　御筆之御代々寄
白蓮院様
法名

女子
替律附　渡辺熊次郎直妻

女子之人
小普請　城織部助峯親妻

一　修英　小三郎　初名　早世

二　修弘　生母同前　左次郎　服病ニ付惣領除

三　修真　鋼之助　早世

七　某　生母同前　楢之助
妻　松平図書頭娘
寛政二庚戌年十二月廿九日兄服病ニ付惣領ニ
同年十二月十五日嫡男惣領　同十二年三月十八日
家督　同年六月廿三日継目御礼

八
某 後名
生駒備右

九
某
生駒尾一郎

ロ
女子 母同
同 林右衛門 某々妻 離別

五
女子
赤塚

六
女子 母同

十
某
一斎

女子
寛永○年賀仕人 善右衛門 某々 保々女 [illegible] 松田
某々 備前 某 妻

橋姓
松将
内蔵佐 侍 家来 松将 伊兵衛 某

三男

満朝
松将 新五郎 初 伊兵衛
母 杉田河内守 某女
安藤 次右衛門 文 某々女
妻 某 々 某女
妻 荻原 蔵 文 某 某女 後 某 某女

宝暦六子年十二月九日御徒より　火番〇安永
二巳年九月十九日御広敷御侍並〇同八亥年
十二月廿六日御広敷添番並〇同九子年十二月十
四日富士見御宝蔵番格同月十七日御勝
手金奉行安永十丑同九月十二日御広敷番之頭〇
同七戌年三月廿日同見　御宗　御霊屋奉行
御納戸御用掛り御勝手出役同八亥年
六月廿日同見諸事御修復御用掛り御書付　白
江戸同年十二月廿三日御広敷番之頭出役〇同九

子年十二月宝家御門より御広敷御用掛り御勝手
出役附属〇天明元丑年正月新番組頭府
御目見同月廿八日御広敷番之頭今出役附属〇
天明二寅年十二月廿九日大奥　御宗

常憲院様御
有徳院様御　霊　御廟同所御修復御用掛り同三卯
年十二月廿五日御広敷番之頭今出役〇天明六午年
六月廿七日病死　右者西丸御書院新番組頭　桑

三

満正　松平新次郎　初秀卿

母　家女

妻　内藤伊兵衛某女

高七拾俵五人扶持

寛文六年九月十六日家督小普請

一　四男兄　女子　[illegible]文助某妻

二　[illegible]　女子　某[illegible]流清妻

二　[illegible]　女子　武蔵[illegible]加藤[illegible]妻

三　[illegible]　女子　某[illegible]氏[illegible]

女子　某人[illegible]

[illegible]

前京姓

石津

先祖ノ伴

某

母

石津十郎兵衛　九之烝

寛永年中天草一揆ノ時ニ疵ヲ蒙リ[illegible]度々加様ニ儀

[illegible]

寛文六丙午年十一月十七日病死年六十[illegible]

[illegible]葬

分九号ノ一

夜久姓
伊東
先祖者飫肥之中務国主伊東氏
左ニ致ス書来仕候処故伊東修理
医師ニ而代々相続

伊東ニ名

貼紙
寛政六寅年本海月毎ニ新規ニ差出　名前

某 石原九左衛門 伊豆守 十郎左衛門

母 某氏

妻 某氏

寛文三年十二月廿二日[illegible]御目見[illegible]大番[illegible]

家督[illegible]年月[illegible]

年二月六日病死年[illegible]法名[illegible]葬

忠定 石原新左衛門

母 某氏

妻 某氏

延宝元年十二月[illegible]御目見[illegible]年七月廿二日[illegible]七年十二月[illegible]

大番

家督[illegible]年月[illegible]天和二壬戌年

六月[illegible]日病死年[illegible]法名[illegible]葬

忠守 石原九左衛門 [illegible]

母 某氏

妻 某氏

天和二壬戌年七月十二日家督小普請[illegible]元禄

十丁丑年六月十四日病死年[illegible]法名[illegible]葬

妻 大番[illegible]女

忠八 石原八左衛門　七十...二...

母 實玉井某女　寛文十七年...

妻 桂川半左衛門某女

元禄十丁丑年七月廿一日家督小普請○元禄十三庚辰年正月廿九日大番○宝永四丁亥年十月廿六日御納戸○正徳四甲午年十二月十二日新御番○享保六辛丑年二月廿八日大坂御金奉行○同九甲辰年六月十二日於大坂病死年六十八大坂阪田町...寺ニ葬

忠武 石原吉三郎　享保...

母 桂川半左衛門某女

實母 大番...某女

妻

享保九甲辰年九月二日家督小普請○同十二丁未年正月廿六日新御番○同十五庚戌年二月廿二日病死年二十六...寺ニ葬

女子

女子

二天文方宗源右衛門某二男
石津九之情　初 三郎

忠盈

養母　家女

実母　某養女　二 妻

妻

享保十五庚戌年六月七日家督小普請入○元文元丙辰年十二月廿七日西丸新番入○宝暦十二壬午年八月十日西丸小性組入○同十二三年十二月廿日西丸御納戸○明和八辛卯年九月十二日御役御免

寄合入○安永二癸巳年十二月廿六日病死六十五歳法名宗　寺葬

忠仁　石津仁十郎

母　家女

妻　後妻 大番組 忠澤女

明和元甲申年十二月十六日部屋住ニて大番入○安永二癸巳年二月八日

寛保同年四月十二日病死、六十四歳、法名日号

葬

妻　細田三右衛門時賢妻

女子二人　元文四年戸　久留勘右衛門正朋妻

一人　未嫁

某　後十二月早世

女子

忠央　石津翻負　初百弐

母　後見荘三郎左近衛安女

妻　細田三右衛門時賢女　後離別

[illegible]　早田清

安永三甲午年七月八日家督小普請〇寛政

二庚戌年十六月十七日西丸書院番勤〇

同年十月晦日西丸勤〇同九年七月十八日死四十五歳

法名明[illegible]葬

女子

忠栄　百翁

母　某氏

寛政九年九月十二日[illegible]

源姓　藤氏支流　　校了

元名岩見又郎と云　某の某ヲ三ト……
岩佐某と……

岩佐

今川家人後三河国住人岩見又郎

任岩号時春　おつ某
吉嫡子

おつにより吉勝ハ
男なりとつぎ家名
を相ト思ひ天氏の
家系ゑらふべし

某
吉勝

岩佐吉助

母ハ岩ハ
今川氏の家臣

岩見又郎任為某女　時遠

代々今川家ニ屬ス名倉兒郎伊賀守時右衛
判實安勝ト云後今川氏真ニ仕ヘ其後
武田信玄ニ屬ス其後武田勝頼ニ属ス天正三乙亥
年五月廿一日長篠合戦討死仕ル子岩佐
右助吉勝幼少ニ而後武田勝頼ニ仕甲州
滅亡ノ後天正十壬午年七月九日
權現様甲州ニ入国之節召出サレ屬ス慶長三戊戌年
江戸ニ而御目見○宗東大猷公ニ仕○

元和丁卯年ニ大番○寛永元甲子年
六月廿六日病死法名宗源

或ノ吉勝
吉滿　岩佐今ニ至ル

母　名倉兒郎伊賀守某女
今川家臣　時忠
妻　名倉兒郎某女

元和七辛酉年　台徳院殿ニ仕大番
紀州

那谷六右衛門〇寛永十辛酉年二月 於??病死 法名??
於若狭国??郡??村ニ??武右衛門〇同年
同年八月廿七日於大坂??病死 法名??
女

武清 右衛門 初??三郎
母 石見??耶?女
寛永十二乙亥年 父右衛門病死 法名??

△天和年??法名??
??
??
十年??
??
??

○家督??〇同二十癸未年??
??大番〇元禄二己巳年十二月??
??病死 法名??

△
末??
母??

??二年十月??
三年??
??
上??
??
??
??

主人
??

??

改白衣○寛永十八年二月十七日加増
於参河國[illegible]大原村ニて弐百石○同年
寛文七年八月廿七日於大坂在番病死 年六十二歳 法名[illegible]
[illegible]

初名某
武清　岩佐某之清　初某ニ郎
母　岩見耶某之清某女
妻　某右衛門某之某女
寛永二[illegible]
清

△元年[illegible]
[illegible]
七段
四年十二月
[illegible]遺跡
十年二月十三日
[illegible]
後[illegible]

母某[illegible]
岩佐源右衛門
[illegible]某二歳

勝方　岩佐源右衛門　長九郎
母　[illegible]右衛門某之清某女
妻　[illegible]源右衛門某女

明暦三年
寛文七丁未年十二月廿五日部屋住ゟ大御番
〇貞享元甲子年八月廿八日新御番〇元禄
二庚午年十二月十二日家督〇同十四辛巳年
六月十六日病死年四十六小日向〓仁寺葬

某 房信
大御番
三浦六郎兵衛室 字右エ門

年月不知
三浦庄左衛門某妻

某 喜久
岩佐権之助 源之丞

年月不知
岩佐源五左衛門某妻

女子
小普請
佐藤慶甫某妻

勝就
岩佐金左衛門 初一学

母
石野源左衛門某女

書院番[illegible]八郎某女

元禄十四辛巳年七月廿九日家督小普請〇同年
十二月廿一日大御番 享保五年十二月十六日
代々相続[illegible]
[illegible]村三百石[illegible]紀伊[illegible]

二百俵之内書之通、享保十七壬子年二月十日
家督相続、元文元丙辰年御書院番
拝領御番入、同三戊午年正月八日病死、年四十、法名□□
同寺ニ葬

某
早世　源太郎

女子
山崎甚右衛門某妻　養女
塚田源右衛門某妻
山崎平之丞某妻

女子
古郡源兵衛某妻
宮古八郎某女

女
河野源八郎某妻

直□　彦三郎　母某

勝衛　某作右衛門　彦三郎　喜太郎
母　某　某女
妻　某　女
書　某　女

元文四己未年家督相続
二月九日大御番入、寛延元戊辰年十二月十四日
二十三歳病死、年四十九、法名□□□□寺ニ葬

勝安　黒沢吉五郎

母　田中半右衛門某女

妻　書

寛政元酉年十二月三日家督小普請○明和七庚寅年四月十二日隠居　寛政五年正月十七日

卒年九十某　葬仁寿寺

女子　福井某女

勝明　黒沢某　初　某

実　某平次郎　某二男

高二百俵

嘉　某

寛　家女

妻　養父勝安女

明和六戊子年十二月十六日御番○同七庚寅年四月十二日家督小普請○同九壬辰年六月

九日某○寛政二庚戌年十月某

女　某

妻　某女

某安　某某書

勝房　岩佐安之丞
元禄八年五月十六日家督　宝永元年十月二十四日死去

勝政　岩佐松之助
母同上女
妻小長谷金十郎安貞女

源姓
岩佐　政

維綱之知京都商代々為岩佐
勝之進末孫

実丹羽右京大夫家来
飯田八郎右衛門忰

郷茂　初茂之助

茂雄

享保年中江戸本丁六月一日出仕○同十八
丑年三月廿五日配勤実○同年八月晦日
以後御用取次役武
蔵国足立郡西郷領加藤村ニ関係

一同十九年六月廿八日養老
下総下野清様之同廿年
八月十八日美作様後備中
清様ニ付ム

廿

御奉公○元文元辰年七月御目見今般御勤

浅間○同二巳年十一月十八日東御殿
（一同年廿二月廿五日御役今十五日　同三年十二月十七日上）

御書院番○寛保二戌年　同七月廿日
（一同四年二月廿八日御足高今十五日）

御書院番○同年十一月廿五日
（一同二年六月八日御足高十枚）

御勤定○延享元子年十二月廿六日御当箱
（前役　二御足高十枚）

書院番○同二丑年七月晦日御武官○寛延
（宝暦十七年九）

宝暦九年十月廿九日清水御広敷番頭
（宝暦）

奥御用人勤役被仰付候○同年十二月

七日御役○同十辰年十二月十六日清水

海　川　御番　日光　七月　今三　御役　相勤

十四日御番頭被仰付候御役
相勤○同十辰年七月
十二日御勤御役御免
清水様御付被仰付候清水様御用○同年
十二月
清水様御付清水
御側御用役被仰付候○同年十二月
清水様白　御側御用人被仰付候
清水様御側
御勤御役御免○同十二年六月

中川飛騨守組頭二而[illegible]
今之丞殿後[illegible]水野[illegible] 同年七月十二日[illegible]
西丸小普請[illegible]支配小普請[illegible]○明和二酉年
二月廿七日病死 享年一[illegible] 葬大久保[illegible]
葬

明和元年十二月廿七日
清水ニ而[illegible]
内目見[illegible]

安永二年 依田又左衛門[illegible]

成信

彦九郎 初八之丞

○宝暦十二年[illegible]年清水[illegible]
○明和元申年六月[illegible]家督○同八戌年

同年十二月廿五日
初見

○天明[illegible]年七月九日出殺(?)
[illegible]

信之

御花(?) 初[illegible]

寄合[illegible]

明和元戌年六月[illegible]家督中奥番[illegible]
安永七戌年[illegible]
[illegible]

十月十五日[illegible]
[illegible]

[illegible]

二月十六日病死 享年[illegible] 葬同寺
妻 堀田[illegible] 寛政女

同四年四月十五日[illegible]同年[illegible]月[illegible]日[illegible]家紀公令[illegible]候
同年六月朔日[illegible]御代[illegible]同年十二月廿八日[illegible]御小納戸[illegible]付
[illegible]御小性[illegible]支配[illegible]御小性[illegible]
[illegible]
一ヶ月[illegible]同年十二月廿六日[illegible]
御小性[illegible]月[illegible]十枚[illegible]同九年四月[illegible]
[illegible]
[illegible]二月[illegible]

尭山[illegible]八郎[illegible]遠国女

龍庭
甲次[illegible]
[illegible]

女子

茂房
[illegible]

茂徳
母[illegible]国女
雄[illegible]

源姓
石尾
[illegible]
清和天皇[illegible]出[illegible]朝[illegible]男大友[illegible]近
將監能宣[illegible]代一万田[illegible]
三男石尾治部[illegible]貞綱後[illegible]石尾左京亮

有忠[illegible]
有次[illegible]
有[illegible]男
石尾[illegible]
有宣
母[illegible]
[illegible]
[illegible]

二百石加増有之都合四百石被下
附西国筋之御使番ニ被仰付信州
善光寺并飯山城請取被仰付織田
常陸介跡ニ付羽州秋田江罷越
附目付被仰付

信顕 有定
上使并御使番御書院番ニ被仰付
越後高田城請取ニ被差越同年
御目付被仰付 文禄元年
元禄五年知行高之内三百石被下

延宝四年正月 日 病死
惣領 有定
同年 有行
天和元年十一月六日病死年四拾九
縫殿 有行妻 右之娘
宝永三年ニ月

有行
母某氏
宝永
将監
寛永
宣政 二男 右衛門 二之助
信政 次男 五郎右衛門
広政 元年 三右衛門 石丸氏 有定
寛政 元年 大番 番組頭
信政

有白 次男 権之助 石丸権之助有白祖
実ハ田中(?)の男有白ノ子となる
妻ハ某
女子 有白妻

慶長二丁酉年東照宮初見○同三戊戌年
於伏見○大坂冬御陣供奉 後大坂夏
○大坂夏御陣御供首一級討之○于時
大番組頭被仰付高四百石余○
同六庚申三月十八日[illegible]
○寛永二乙丑九月[illegible]
今年[illegible]○同九壬申二月
台徳院殿御遺金[illegible]拝領○同年
[illegible]○正保二乙酉年十月

六日病死 [illegible]
妻ハ[illegible]信之の女

[illegible] [illegible]

宗[illegible]
寛永二乙丑年初見○同[illegible]
[illegible]○同七庚午十二月廿八日
[illegible]
[illegible]
○同九壬申二月[illegible]拝領
○正保二乙酉十月[illegible]○[illegible]

女子 [illegible]妻

同日ニ而七百石并而知行之内ニ而高之儀
并組ニ加ル 新規二百石知行ニ而加増
○万治元戊戌六月廿三日御書院番被仰付
○寛文三癸卯八月廿八日大坂町奉行
同加増千石○ 与力十騎同心五十人被預之△

〆

右衛門佐様御家
今日御役儀御免病死 一壮
寛文元祖父従加増并知行三千石
大阪御役所御支配
山形ニ而病死 法名

右石川宮福氏ニ而書
○延宝七己未五月十三日於大坂御役宅病死
病死七十五歳 法名月心院殿
妻 岸田半左衛門女照ノ妻

〆

女子 定勝妻
女子 某ニ嫁ス
女子 某ニ嫁ス
女子 某ニ嫁ス

石丸
数馬

定勝

寛文十二壬子 実者某之男 某養子○
延宝六戊午十二月廿九日中小姓組○同七己未○
未七月九日家督○二百石知行 二 七月
享保十甲辰年 水戸御門番○同月二十日

附録二十五貫余　御役料　同日上御用

十一月　桜田御門番　御進物御用掛　○
同四丁卯三月廿五日　御使番（貞享四年布衣）○元禄七
甲戌八月九日　病免小普請　○同八年乙亥
五月廿四日　病死　年六十二　法名[illegible]
妻　宗源之女

母　坂本久[illegible]　宗治之妻
宗親　源助　石丸元[illegible]　宗治養祖
某　市助
流円（ ）　[illegible]
坂本久[illegible]　宗治之[illegible]女

宗賀　權之助　後号[illegible]
母宗源女　元和七年七月十三日　卯之
元禄八乙亥七月十一日　家督　父之遺跡
弐百石（ ）余　同弐百石（ ）余合余[illegible]
次男　源之助　御番入　○同年十月廿一日

宗枝　[illegible]
兄宗[illegible]
母　松平[illegible]　数[illegible]

桐之間御番　○同十丁丑二月九日　御小性組　（ ）
男妻　○同年五月　御小性組　（ ）
己卯至九月十日　御使番　布衣
脱　○宝永元年卯二月　[illegible]　御徒頭
山之塚　御役　○同年　甲午十二月
十八日　御使番　○享保元　丙申一四月廿一日
大坂　御目付代　○同年九月　[illegible]　同月
廿九日　大久保[illegible]
御役[illegible]

壹岐守 [illegible] 御老中 [illegible]

門 [illegible] 國 [illegible]

[illegible] 運判 [illegible] 不

[illegible] 仕 [illegible]

[illegible]

同 十二月 [illegible] 見 ○ 享保 [illegible] 六月 [illegible] 日

大坂御 [illegible] 代 ○ 同八 [illegible] 病免 ○ 同

十一 未 [illegible] 月 [illegible] 日 [illegible]

妻ハ [illegible]

宗枝 [illegible]

宗枝

[illegible] 勘 [illegible]

実 [illegible] 四男

享保 [illegible] 年 七月 [illegible] 日 初見 ○ 同 [illegible]

丁未 七月 [illegible] 日 [illegible] ○ 同 [illegible]

[illegible] 月 [illegible] 日 [illegible] ○ 同 [illegible] 十二月 [illegible]

日 [illegible] ○ [illegible]

三月 [illegible] ○ [illegible]

[illegible] 日 [illegible] ○ [illegible]

十二月廿三日病死 [illegible]

妻 [illegible]女

不記 太郎 勝五郎 権之助

定春 母某氏 [illegible]

[illegible]

[illegible]二巳年十二月廿九日家督○

[illegible]

宝暦三癸酉九月廿六日死

定親 テル 母某氏

不記 勝太郎 数馬 慶蔵

宝暦三癸酉十二月二日家督○[illegible]

[illegible]○天明八戊申六月十七日死

[illegible] 妻 [illegible]女

定静 ヤス 二男 [illegible] 高弐千石

母 [illegible]女

天明八戊申九月十二日家督○[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

妻 [illegible]女

長 [illegible]

[illegible]

女子四人

某　万五郎

源姓

石丸　　　　摂ノ

石丸治部大輔貞経後石丸数馬宣猶之男

石丸　源之助

宣親

元禄元年十一月五日生　母石丸数馬女　二月十五日初見

元禄八乙亥七月廿三日父跡目二百石

拝領石余知行小普請組之事

宝永三丙戌四月廿四日死　四十四才　法名

高野山葬

定維（ノリ）　右九　関根　初 縫之助　左京
母ハ某氏
享保三戊戌七月二日生○享保廿
乙卯八月廿七日元方出納○寛保元年
酉九月廿六日同組頭○延享二乙丑九月
組頭
廿七日両丸出納組頭○寛延元戊辰十二月廿九日
八月二日一同小普請入○同十二壬午十二
月廿三日新規両丸出納組頭○明和
二乙酉六月十三日小普請組頭○天明
四甲辰八月廿六日老免○同五乙巳年
十二月廿八日死　七十九　同年
妻　小普請関達信里ヵ女

定清　右九　六之丞　初 吾兵衛

定正
寛延二己巳六月十四日生　母　信里女
明和元甲申十二月十六日新規御番
太郎安○明和四丁亥八月四日病死　廿
九才
妻　石川伊右衛門女　一毅女

定房　右九　太之丞

定廣　母ハ某女　吉之丞

右次　右九　五十
定兼　定之丞
定重
定之
右之
右禎

女子 松平何某…室

女 実石丸…娘 …

文化六己巳年十二月…

明和四丁亥年…[illegible]

安永三甲午年十二月廿二日初見 ○同五

丙申年十二月廿九日[illegible] ○

新番 ○同六丁酉年十二月[illegible]祖父[illegible]

[illegible]

高弐百[illegible]石

定住 [illegible]

定良 [illegible]

喜 [illegible]

源姓

石丸 [illegible]

本支元近江[illegible]一万[illegible]太郎

左馬宣景二男石丸治[illegible]貞能

後流

定盛 石丸五左衛門 市之丞

石丸六左衛門[illegible]二男 母[illegible] [illegible]之女

寛永十二乙亥年 ○小納戸 ○[illegible] ○[illegible]

二年十二月[illegible]

高千石[illegible]拾[illegible]石[illegible]

新[illegible]石[illegible]明暦二丙申年五月廿日

ム寛文十二年十二月十二日
仰によりて家督を継ぐ
女院御方の番を勤む

中奥御番○加役百俵ム延宝五巳年五月（宝永二年…）
廿九日二丸御留守居○天和二年正月廿二日
五料三百俵を加役ニ加へ都合五百
石○同三年八月廿九日鎗奉行 西清水
ノ○貞享元年十二月廿九日死 六拾八歳
浅草妙福寺葬
妻 石丸権三郎有吉女 後妻伊八二女

定猪 早世

定清 母 ○○女
石丸五左衛門 十三郎
寛文九年初見○天和二年九月廿五日
宗組○貞享元年七月十二日家督

定時 石丸五左衛門 妻
定氏 庄九郎

女子 石丸定次（？）女
女子 ○田小○○○○妻

中奥御番定（○○）所々○
宝永二年七月廿二日小十人組○
享保二年十二月十二日戸田能登守組○
権列御賞御（○○）○○○○十五日御役○
○同十一年二月小普請○同十三年十月
廿八日西丸御留守居○同十八年九月廿七日死
七拾歳 浅草寺葬
妻 東條与兵衛七左衛門女

定宥 与兵衛 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

清相
石丸五左衛門 次郎右衛門 定水

女子
始定房 母七左衛門女

享保十三年十二月七日初見○同十五
年十二月九日家督○同十六年三月廿
三日家督御礼○同十九年十二月廿九日西丸
御書院番○延享三年正月廿日死 三拾
四七 同所同寺ニ葬
妻 南條兵庫信虎女 後妻 六之丞方長門守 稲判女

女子 鎌倉市左衛門茂政妻
女子 定儀ノ妻 定之ニ嫁して 定儀死 九月 [illegible]
女子
女子 定能 [illegible]
女子 南條兵庫信虎女

定儀 ヨシ
実 石丸五一郎 信之三男
石丸吉五郎
母 [illegible]女
延享三年正月廿日 [illegible] 家督○同年
[illegible]○同月廿二日家督御礼
同年十二月二日死 拾八 家来同寺ニ葬

女子 [illegible]

忠次
実 石丸 [illegible] 定之 継二男
石丸 [illegible] 平
母 [illegible] 女
延享三年十二月廿六日 [illegible] 家督
○同四年二月廿九日家督御礼○寛延
三年九月十五日死 貮拾 [illegible] 同寺ニ葬

定榮
初 次榮
実 石丸 [illegible] 定之 継二男
石丸定之進
母 [illegible] 氏
寛延三年十二月二日家督○同四年

三月廿五日家督御礼○明和八年十二月廿六日

御小性組○安永五年正月日光供奉○

同年九月廿二日吹上大的射候而拝領物○

同十年正月十一日[illegible]○天明

五年十二月九日死五拾歳[illegible]

妻 松田善左衛門猶之女

女子 和田伊予守[illegible]養女 嫁[illegible] 後[illegible]妻

定安 母 [illegible]女

石尾[illegible] [illegible]

天明五年十二月廿五日家督○同六年

二月廿一日御礼○寛政六年二月

女子 服部伊予守[illegible]妻

女子 三宅[illegible]妻

女子

[illegible]
[illegible]
文政元戊寅年七月廿九日[illegible]
[illegible]

廿一日中奥番[illegible]○同年九月廿日

御書院番[illegible]○同七年十二月廿日小普請

行状子○文化元甲子年四月廿六日[illegible]

妻 [illegible]女

高五百石

定亨 [illegible]

母 定国女

某 [illegible]

源姓

石尾

石尾治部少輔貞氏、後石尾七左衛門

定盛三男

拾

定時

石尾 竹之丞 源五郎 改姓 清水 日記 源右衛門

天和三年亥五月朔日初見

貞享元甲子七月廿一日父定盛家督

新知行内五百石定盛次男定賢

百石分知の事を保つ入 癸卯十二月廿六日

隠居〇同十一酉年七月十九日死 法名宗何 寺

妻 伴長之丞 女

宗寛 初市之丞

同氏 初信應

実 同氏之丞 次男

母 同氏 女

享保八癸卯十二月廿六日家督〇同九甲辰十月九日大御番〇宝暦六丙子

正月廿二日死 同寺

妻 文清 女

女子 宗濃妻

女子

宗濃 同氏 初 之丞

母 某氏

実 同氏 次男

寛保二壬戌十二月十日家督〇大御番〇宝暦六丙子二月廿日家督〇同十二壬午八月廿九日死

女子 宗國妻

宗國 市之丞 権三郎

実 和田 三男

母 某氏

宝暦十一巳年十二月八日家督〇大御番

安永二巳年十二月
新御番組頭

安永四未年御小納戸 同年御小納戸之 天明五巳年 巳年

御書院番 御使番

女子

定庸 母 扁和女

寛政六年八月十日

宗武 要人 捨子 左衛門

宗武百石

義眠 後二郎

女子

某 安三郎

某 新三郎

大御番ニ入 天保八酉年三月十九日病死

源姓

石丸

石丸治郎太輔貞久

捨子

有定 孫九郎

文禄元辰十二月

十二月六日病死 寛永八未

正次 石丸与右衛門

慶長元甲 新規被召出 御書院番 [illegible]
二百石被下 後御持筒頭 ○元和元
卯六月廿二日死 [illegible]
妻 村上[illegible]女

母[illegible]
[illegible]

正直
母[illegible]女
勝三郎
元和[illegible]年 [illegible]
二巳 七月[illegible]日 [illegible] [illegible]
[illegible] ○同十[illegible]年 二百石加増 ○
寛文九酉 十一月[illegible]日病死
[illegible]
妻 [illegible]女

某 小十郎 石見 早世

政澄
伊右衛門 伊兵衛
母 [illegible]女
寛永二十二年 [illegible] ○寛文九酉
十二月[illegible] [illegible]
[illegible] ○[illegible]
三月[illegible] [illegible] ○同[illegible]
[illegible] ○元禄[illegible] [illegible]月十二日死

正廣
寛文九年十二月[illegible] [illegible]
妻 [illegible]女

有親 左京
又有信ガ子
政尹 傳ニ在リ

女子 上田東[illegible] 傳ニ在

忠辰 於母 [illegible]女
元禄二年[illegible]
[illegible]重政妻

有禮 [illegible] 傳ニ在リ

女子 [illegible]妻

有慶 初忠辰 於母 [illegible]
[illegible]七月十二日[illegible]家督[illegible]
[illegible]死 [illegible]

有親 [illegible]二男

女子 [illegible]

[illegible]

有春 [illegible]
[illegible]十二月[illegible]

九月[illegible]死 [illegible]

妻 [illegible]母

有[illegible]
有久
有[illegible]
有長
[illegible]
女子 [illegible]
女子 [illegible]妻
女子 [illegible]妻

女子 小笠原平兵衛方高妻
寛政十二申年六月十日病死 武蔵小石川 葬 法名

有由 太郎 石丸孫之丞
母政常女
明和 又 十二月 家督 高六百石 小普請組
寛政 之
妻 博明女

有英 源之助
母 某氏

女子

女子

女子 寛政 女

源姓 石丸 系譜

石丸孫次郎有定三男 石丸孫之丞有種

二男

有澄 又三郎 初 孫三郎 百助
母 某氏
元禄十五年七月十二日父之遺跡
六百石 源祖父
有俊 有俊
孫之丞 有種

新御射有信九男〇二百石拝領 十七

上總於東江〇享保六丑正月二日罷

出寄合〇同十巳六月十九日西丸勤

〇宝暦九卯二月九日老免〇明和

二酉十二月十八日死 七十四

妻 小笠原志摩守久隆養女 實ハ松平又十郎親番女

一 有休 不死 友之助 多病 惣領除

五 有廣 不死 権之丞 六之助 庄之助

母某氏

二 女子 上田采女正妻

三 女子

四 女子

六 女子

七 女子 小笠原固之助妻

八 有永 留吉

九 有師 弥十郎 村上与兵衛養子

明和二酉十二月家督〇西丸

小姓組〇

〇天明五巳年

十月十八日病死

有寿 ト之 母某氏 不死 縫太郎

高五百石

天明五巳年十月家督 小普請

寛政八年十二月

妻 桜井庄之助女

源姓 接了

石尾

石尾治部大輔貞綱之後孫猪之助元

寛某男 某氏女 寛文十一年十一月生 母某氏

石尾 猪六郎 後治大夫

有吉

慶長十七壬子年相續知行百石賜

大猷院様御小姓組

小姓組大坂夏陣供奉 上總國之内 首級ヲ得

寛永二乙丑十二月十二日知行

此時不足藏米三百俵 ○同年西丸御番

二年 合廊下番 備後守御番

二月二十六日 御書院番之内

享保十九年八月廿六日依老免遠慮御免 寛延四年六月廿日死 ○跡目被仰付

三百石○服忌三甲午十月廿日死

六十七歳 代々

妻 … 女 二世十九歳

有勝 次郎左衛門 後…
女子 石丸七郎…
女子 石丸…妻
女子 妹…妻

有清

権六郎 初太郎九郎

母 … 十九年… 女

元禄三庚午年 … 家督
組○同年十二月廿七日 …
御蔵米弐百俵 八次男石見 … 被仰付
分知○天和元辛酉病死○同年
十二月十二日 病死

妻 …女

有宸 上表次郎左衛門 … 有徳…子
良有 又左衛門 …子
女子 … 妻

有春

権六郎 初 主税

母 昌春女

天和元辛酉十二月十二日 家督○元
禄二己巳四月廿五日 御小姓組○同年
辛巳十月廿二日 桐間番○宝永二
乙酉十二月廿八日 桐間番御免○正
徳四甲午六月九日 病死

妻 大久保勘三郎…女

子 早世

有興

権六郎 初清太郎 主税

永井九郎右衛門代
実 長田□□下 多喜三男
母 □□□
正徳四甲午年八月廿三日家督○享保
組○元文二丁巳十二月十二日死
妻 □□□□九郎 □□女
[illegible]

# 有正

石九
権六郎 今孫 初 十次郎 重穀

[illegible] 母 [illegible] 女

元文三戊午年二月廿七日家督 [illegible]
安永五丙申年七月九日死
妻 [illegible] 女

[illegible]

給仕 [illegible]
[illegible]

# 有貞

石九
主税 初 今孫

母 [illegible] 女
宝暦五乙亥九月廿六日家督○[illegible]
安永○天明七丁未三月十七日隠居
[illegible]
隠居○同年七月 [illegible]
妻 [illegible] 女

# 有秀

十郎
石九
権六郎 初 今孫 源次郎
母 [illegible] 女
天明七丁未三月十七日家督 高六百石
[illegible]

某年某月某日〇〇九月某日〇〇〇
〇〇〇〇〇〇進〇〇〇〇〇〇〇八年十二月廿〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇十四年十一月
十六〇〇〇〇〇〇〇年四月廿〇〇
〇〇

女子 妻 某男女

女子 某家妻

女子 某〇〇〇妻

女子 某〇〇〇〇〇女

女子

有孝 孫四郎

母 某女

藤原姓 石尾

稲葉能登守家来石尾猪之助家来

〇次郎

宗 石尾〇桃

母 稲葉能登守家来 稲葉〇〇〇女

妻 〇家女

文昭院様於桜田御殿元禄八乙亥年十二月御醫
師ニ被召出切米弐百俵○同年十二月晦日奥
御醫師○同十四辛巳年十月十八日病死葬
于浅草武蔵之助寺下谷某寺ニ葬

町醫師
二男永井楽之四男
学則（サト）　石尾某庵

母　家女

妻　某之女桃女

於桜田御殿某（不帰）子同元禄十四辛巳年十二月家督（賀某子）

従小普請○同十五年八月御番醫師○同
年、享保年六月病気為御療治人御番并免○
同年八月十七日病死葬于小石川某寺

葬

女子　某之某則妻

松平某家臣
実田村氏某之曽
貞則　石尾一庵

某母　石尾日見桃某女
松平某家臣某
実母　吉田十某清某女

寿昌女

元禄十六癸未年十二月廿六日亡父遺跡家督小普請

請組因幡守支配○宝永元甲申年

文照院様御児小姓入後小普請○同二乙酉年

十二月廿八日西丸同見ヘ○同 享保九 甲辰年八月廿三日甲府勤番

御医師同九月廿八日西丸○同九己卯年七月○宝暦

寄合御書院番頭今勤番○安永二甲午年正月

八日病死八拾六歳甲府東光寺村織部葬

一

則之 石尾且之丞 廿九

初寄合法印隠居之子

五

和則 甲府勤番 支配 石尾要人 初七之播

養母 某 家女

実母

妻 某 貞則女

高弐百俵

宝暦三癸酉年二月廿一日生、寛政七乙卯年
七月朔日家督、御番医師ニ而甲府勤番医師ニ被仰付
己未年七月朔日家督之　御目見、同九月十四日甲
府在勤、寛政八年十二月十八日病死、法名
享和二同九年辛酉十二月廿四日病死　享和二戊年七月十日病死
二　甲府勤番　工藤治部右衛門元徳妻　享和二年病死
　　　　　　　　　　文化二丑年正月十六日死
女子六人　同氏　三宅権十郎政吉妻　歳八十八　葬地同前
已　甲府勤番　植村高左衛門泰胤妻
三　甲府勤番　石尾甚右衛門和則妻
七　江原将十郎定貞　橋新列
　　尾介

一女子
則本　石尾昌始　初市之進
　母　同女
　妻　本多忠○女

源姓
石尾

伊勢国住人石尾孫次郎有定初而
権現様江仕候有定之曽

有吉　石尾権六郎

母　不知

妻　秀次之家臣　三井十郎兵衛某女

慶長十七壬子年月日不知

権現様江被召出紀伊中納言殿江附属○大坂両御陣供奉
○年月日不知御書院番○寛永二乙丑年十二月
十日
台徳院様御代於駿府御蔵米三百俵被下○寛永
十壬申年月日不知大御番組頭被仰付御加増
領二百石○年月日不知御鉄砲頭被仰付采地百俵御加増
都合八百石○万治二己亥年十月廿日病死
六拾七歳ニ而死去

有清　石尾権六郎
當時松平加賀守殿家臣石尾権七郎祖
三代
石尾源右衛門
初源之丞

有勝
母　三井十左衛門某女
妻　不知
慶安四年十月七日初見
寛永二乙丑年生○年十二月父遺跡百俵小普請○寛
文元辛丑年十月大御番○同七丁未年閏二月
同年新御番○同年御加増本高合百俵御加増○

元禄十丁丑年十月二日病死　小普請○享保十
乙巳年九月廿八日病死八十五歳　小石川戸崎町
宗慶院ニ葬

有慶（イヱ）　実ハ末松紀　石丸権六郎有清之曾孫
石丸次郎三郎之嫡
与三郎
仕官せん

養母　実ハ
実母　郡浅右衛門之嫡女　昌春
妻　養父有清女

天和三癸亥年十二月日不知家督○元禄六
癸酉年十二月廿四日○同七甲戌年十二月切米
弐百俵○宝永五戊子年正月廿日病死四十二歳
小石川戸崎町宗慶院ニ葬

女子　養父有清妻

女子

有晴　石丸波五郎　嫡孫兼外祖
金作
母　祖父有清女
妻　女

宝永五戊子年正月廿六日父跡相續之病死仕
同年四月十七日父跡知行之内切米弐百俵〇
〇正徳六丙申年二月廿日有馬掃部頭組〇享保
十二丁未年十二月同家督跡知行之内切米弐百俵
并ニ御加増小普請〇同十三戊申年二月二日
大番〇同十五庚戌年四月廿二日新御番〇宝暦
三癸酉年六月八日病死[illegible]

有職

石尾源之丞　初[illegible]　後石尾[illegible]

母　渡辺市郎兵衛定年女

妻　中野源之丞定峯女

宝暦二壬申年十二月廿七日部屋住ニ而大番〇
同切米弐百俵〇同三年九月廿日家督部屋住
ニ切米[illegible]〇同六丙子年十二月廿九日新御番〇
同七丁丑年九月十日病死小普請〇明和四丁亥
年正月廿日大番〇同七寅年閏六月廿八日
病死小普請〇[illegible]年四月廿日[illegible]
[illegible]

某

有忠　権之丞　石尾七郎之系　初源次郎

有武　兄有綱養子　以之助　三郎兵衛之傳

有來　初之助

有忠　家督　石尾七郎之傳　初源次郎

前妻　中條源之丞正勝女

後妻　堀淑部兵衛直定某女

妻　三宅監物長頼女　大番組頭（小字）

高弐百石　拾俵

安永八亥年七月廿日若年〇関　天明元年十二月

大目家督〇天明二寅年十二月四日大御番

享和元年酉四月六日病死　葬地同前白家

女子　小普請　渋谷小膳重泰某氏
渋谷万助重方妻　離別

女子

有保　伊之助　源五之傳

実中岩元権六郎有正の厄介
母某氏

寛政六年七月部屋住　御番入　十二月廿一日出仕

妻　中川九郎兵衛某女

某　伊之助

母　同某女

本東姓

紀州浪人石尾某之聟改姓由緒ニ云々

石尾

石尾清右衛門道政妻

石尾宗右衛門

小三郎

道輝

母　土氏

壽須同沢江馬某女

元禄五申年……

家督……

寶曆……十二卯年……

寛永二年壬四月

折々御役儀相勤候中様事之外御用向之無之候
至極之義ニ付且又段々数年之中勤仕候ニ付
同年十一月為御救白銀拾枚被下且又御加増
○享保元申年十二月十二日
八十宮様御用達百俵御加増被仰付旨浅野之侯
有章院様薨御ニ付御役御免○同年
十二月廿日淡路守殿於御役宅○享保九辰年正月
淡路守殿御役宅ニ而安藤右京亮殿勤方之儀

渡同年閏四月因幡守殿於御城○高家
十三申年正月淡路守殿御宅ニ而御役
務方被仰渡候○同十八年九月御年寄
御年寄○元文巳未年正月
御役○同年申年八月
○寛保二壬戌年正月病死
寺地中池練院

△十二月六日部屋住之節
御番入被仰付候
内二十二日迄
遠江守殿御支配
被仰付候
福井佐渡守二十二年
二月十日 家督

輝信 石尾清兵衛

母 酒田次兵衛某女

妻 石尾兵三郎有親女

享保十九寅年十二月廿六日初見 明和以之ヶ年行兄〇月廿乙卯

年十二月 御徒被召出 御番入被仰付〇寛保二壬戌

年二月廿二日 家督 以之年行 後〇宝暦二

壬申年九月十六日 石尾山城守組 同巳

甲戌年十二月朔日

惇信院様 御暦礼之節 御同朋 石尾 [illegible] 為入

以来同信〇同某年一月十五日

浚明院様 年始御礼被仰付為 入以来同信〇同六丙子

年四月十五日

浚明院様 御誕生 御宮参 同 御用 [illegible] 江戸城

同年七月廿六日

千代姫君様 御誕生之節 御宮参 同 仕〇

同年十二月廿二日

千代姫君様 出生 御宮参 御用 仕〇同

十歳辰年四月朔日

心観院様御出生之御方橋之御仕候○同十一年辛巳
年正月廿日
心観院様 御着帯 御着帯之御祝 同年
八月朔日
萬寿姫君様 御誕生 以後御当日 御宮参同日
○同十二壬午年九月廿二日
萬寿姫君様 出生ニ 御家来ニ付 御出入○同年
十月廿五日
孝恭院様 御誕生 御当日 御七夜 御宮参

日於御○同十三癸未年七月十六日今度尾
張侯御縁組○同年九月廿二日
孝恭院様 出生 御宮参ニ付御出入○明和三丙戌
年十二月朔日 萬寿姫君 御下向 御縁組同年
十二月朔日 萬寿姫君
尾張中納言殿江御婚礼ニ付御引移之御祝
御渡○同四丁亥年十二月 萬寿姫君様御下向
御婚礼御縁組御整御用始御用○同
六己丑年七月廿日 御先代 今度御役

明和〇同年十月十四日病死七拾二歳葬所同寺

蔡

房利　四男岩瀬彦三郎　岩瀬権左衛門　早世
元文元辰年十二月小普請
岩瀬忠左衛門房重養子

潔忠　小普請　高濱兵左衛門　浪人
寛保二戌年二月小林本之助
高濱兵左衛門潔忠養子

次忠　小普請　井田甚九郎

寛保二戌年六月四日見ル
井田甚九郎次忠養子
四男安藤与一　小林長右衛門

長忠
寛延四未年九月四日
小林長右衛門長忠養子

女子　小普請　松井彦之丞清次妻
後嫁　某　政安妻

女子

種宣　石尾半左衛門　清兵衛
母　石尾左衛門有紀女
書院番（大番）作木六千郎一陳女

宝永七庚寅年八月廿四日生
宝暦十二壬午年九月廿八日部屋住ニて大番ニ
御切米三百俵被下明和三丙戌年二月廿四日病死
三縁山之末同寺ニ葬

輝向 石丸信太郎
嫡孫承祖

輝房 石丸仁右衛門
若年ニテ病死

友旋 森川信之助

宝暦九卯年十二月廿八日小十人
森川長右衛門右方養子

栄輝 太田小膳
宝暦四甲年十二月廿七日遁
太田伊之丞養子

女子二人 小笠原
太田母
宇佐美八郎兵衛幸敬妻
三浦左馬助経緑妻 璉
妾 天祥院宮田氏

輝向 石丸信太郎

明和六年七月
廿九日…
…同六年…
十二月十六日…
…
…
宗道

母　佐々木庄十郎一族女
妻　同藤　松倉弥紀之介女
高野山宝福院住持
明和二乙酉年二月八日蟠原家相続〇同六年
年十二月養家相続〇天明六丙午年
六月十二日卒〇宝暦…〇同年十二月十六日隠居〇文化九壬申年十二月…〇文政元

男　吉次郎
諱　石橋某十郎
文化八辛未十二月…
母同上　女
同上　女　松倉…へ嫁之
菊　同上

夜東姓
石場
嫁

石橋伊於…字…源甲斐国信
石橋同道之六代石橋市左衛門宗豊
より出…石橋と改

定性
石橋市十郎　市之丞　右之丞
隠居…

母

妾　本江戸人作事方同心 濱右衛門妻　水戸藩三輪氏女　實母

貞享四丁卯年四月四日於紀州

對山殿ニ而生ル　十人組並ニ

三之丸様江被成御附　○元禄十五壬午年

六月廿日進御抱ニ而御用　○年月日不知

中ノ間女　○正徳二壬辰年十一月廿日

長福様御抱守　○享保元丙申年

有徳院様　二丸ニ被為入　浄円院様二丸ニ而　九月九日

在方中奥女中　廣宗言伝　御部屋様付ニ而　○享

保十三戊申年　五月廿八日　御小納戸

同年十二月廿八日　二千石　布衣　○同十五庚戌年

九月廿八日　二丸御留守居　○元文五庚申年

四月廿六日　病氣ニ付　[illegible]　時服三

同人　[illegible]　十二月二日　[illegible]　○寛保元

辛酉年二月二日　病死　八十三歳　四谷正覚寺葬

政武（マサヨシ）

父 石嶋市十郎　源五郎　右主膳

母 三村兵部正長女

妻 小林利右衛門菅隆女（元尾州千左右衛門妹）

元文五庚申年十二月二日家督〇三百俵（小普請）

壬戌年正月廿四日御目見〇勤方〇同上

癸亥年二月朔日勤仕御番入〇同年

十二月十二日御書院番加入御使番御足高

百俵〇延享三丙寅年九月朔日御徒頭

五十石加増布衣二百俵〇宝暦十三癸未

年十二月廿七日病死小普請入〇明和三

丙戌年正月廿二日隠居〇同六己丑年

十二月四日病死六拾二歳葬地同上

女子

持方小普請組

今村十左衛門同人妻

一 政値 石川市十郎 初ハ源之丞 勘兵衛 浮心

母 小林利右衛門某女
二丸[illegible]某女

妻 土屋治右衛門某女
大御番[illegible]某女
後妻 井上長三郎某女

享保三戊戌年九月朔日初而御目見

〇宝暦七丁丑年十二月廿六日[illegible]御小

納戸〇同月廿八日布衣〇同十庚辰年十二月

十二日西丸江御附御側御用〇同十一辛巳年

六月薨御ニ付八月四日一統奉合[illegible]

[illegible]〇同十二壬午年十二月

九日御小納戸〇同月廿五日西丸御小納戸

〇明和三丙戌年四月八日[illegible]〇安永八

己亥年二月

孝恭院様薨御ニ付四月十八日一統奉合

〇天明元辛丑年四月廿一日西丸御小納戸

一同年閏六月十八日
若君様御附御抱守ニ同日甲辰年
六月廿二日病死　年十八歳　葬所同上

宝門（サタカド）　石浦源左衛門　妻
宝暦五年十二月十三日宝門家敷近所ゟ妻ニ致　同所

正庸（ニヘ フリ）　十歳
明和六年六月廿日安養寺院宝岸居人

一鉄吉　同八辛亥年十二月廿四日出生
安永五丙申年六月晦日出奔

女子
年月日不知
順信院様御次ニ宝暦二壬申年月日不知
御中藹ニ宝暦十一辛巳年　藤沢御附
同年七月十八日御暇ニ同十二壬午年十一月
日不知

仙台院様御附御中﨟○明和八辛卯年
豊寿と改同年十月廿四日剃髪○寛政二
庚戌年十二月六日於桜田屋敷ニ而病死

政友（マサトモ）
不詳弟十歳

母　（御小性組）森川伊太夫某女
妻　賀見平三郎四郎女

明和二乙酉年十二月廿一日初而御目見
○安永五丙申年十二月十九日部屋住より
御番入御書院番○同八己亥年
孝恭院様豊千代様御附同年正月十六日召出
ともに一橋勤ニ而御附○天明元辛丑年
閏五月十九日
若君様御附○同四甲辰年六月廿二日父
病死ニ付父之跡同年十一月跡目相続○

一同七丁未年六月廿二日御小納戸勤仕同
五百俵高ニ而御小姓組番入被仰付 同年
十二月十八日布衣ニ被仰付 寛政五癸丑年十二月
十九日御書院番組頭ニ被仰付 同甲戌年六
月八日病死 年七歳 葬地同前

三
久邦 中村小三郎
明和四丁亥年十二月八日屋敷ニ而出生 母中村久兵衛娘
久邦為嫡子

四
正道 桃之助
安永八己亥年七月十二日赤井家館ニ而出生
嫡子 天明五乙巳年十二月十七日部屋住

五
幸時
八之丞 青之助
初名 赤澤
天明三癸卯年 ... 病死
幸時為養子 同五乙巳年十二月廿七日 ... 家督
出生

女子二人
六 淑姫君様御中臈
二 早世

三
政披 石橋金之三郎

母 某氏 貸平三郎兵衛女

妻 某氏 高武石衛門

寛政十戊午年九月廿六日家督 小普請

某 石橋市之助

女子三人 一 高橋七之助 成瀬妻 小普請
二 早世
三 早世

日本政府図書
内閣文庫
国立公文書館 National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan